

# 会 報

HOKKAIDO MACHINERY MANUFACTURERS ASSOCIATION

# 明日を拓く

2025年(令和7年)5月号(第270号)

VOL51 NO.2



(株)新興工業が施工した長野県 東寺尾・清野間水管橋(画像上)と同社の酸洗工場(石狩市)



# 酸洗 専用工場 稼働中!!

## 処理のみでも引き受けます!!



小さいものから大きいものまで  
酸洗可能です!!

### 株式会社 新興工業

本 社 〒063-0834 札幌市西区発寒14条3丁目1番1号  
TEL. 011-664-5001 FAX. 011-665-5002

石狩工場 〒061-3244 石狩市新港南1丁目28-69  
(第一工場) TEL. 0133-64-5001 FAX. 0133-64-5002



(株)新興工業の酸洗専用工場の利用が増加中(表紙から)

北海道、東北等の寒冷地で使用する水管橋、橋梁添架管などの保温管を製造する(株)新興工業(本社:札幌市、工場:石狩市)は同社敷地内に酸洗専用工場を併設しています。

現在はクライアントが自社内で対応できない酸洗構造物を引き受け、同社の大型酸洗槽の活用により、作業効率化に貢献しています。

(13頁掲載)

目 次

|                                          |    |
|------------------------------------------|----|
| 第6回正副会長会議、第3回理事会及び派遣元との懇談会開催             | 2  |
| 2024年度 交流推進委員会の開催                        | 4  |
| 2024年度 受注拡大対策委員会の開催                      | 5  |
| 受賞おめでとうございます                             |    |
| 令和6年秋の叙勲受章者発令 (株)産鋼スチール元代表取締役 上遠野 久夫さん受章 | 6  |
| 新興工業の酸洗工場が絶賛稼働中                          | 7  |
| 『WIND EXPO 国際風力発電展』に当会が出展                | 9  |
| 「企業間連携推進室」だより                            |    |
| ものづくり技術力強化エキスパート派遣制度2024年度 成果発表会         |    |
| 「これからの時代のモノづくり(デザイン・DX)」の開催              | 11 |
| 北海道機械工業会&室蘭工大コラボによる高度技術セミナー              |    |
| 「進化するAM技術(3Dプリンタ)の最新動向と活用事例」を開催          | 12 |
| CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業            |    |
| 「第2回 電動化に向けた競争力強化セミナー」の開催                | 13 |
| 企業経営環境アンケート調査結果                          | 15 |
| 当面の行事日程について(5~7月)                        | 24 |
| 部会だより                                    | 26 |
| 支部だより                                    | 40 |
| 会員加入状況                                   | 44 |
| 技術情報コーナー 道総研 工業試験場 試験研究コーナー              |    |
| 令和7年度における道総研工業試験場の研究開発の概要について            | 46 |
| 令和7年度の主な研究課題                             | 47 |
| お知らせ                                     |    |
| 中小企業大学校旭川校 2025年5~7月開講研修のご案内             | 49 |
| 職業能力開発大学校(ポリテクセンター)のご案内                  | 50 |
| 事務局日誌                                    | 51 |
| 事務局からのお知らせ                               | 53 |
| あとがき                                     | 54 |

# 第6回正副会長会議、第3回理事会 及び派遣元との懇談会開催

第6回正副会長会議が次のとおり開催され、下記の案件を審議しました。

また、正副会長会議終了後に第3回理事会が開催され、事務局から提案のあった新年度事業計画(案)及び収支予算(案)が決定されました。また、今回の理事会からWeb参加を取り入れたハイブリッド方式として新たな形での理事会となりました。

## ○ 第6回正副会長会議

日時 2025年3月24日(月)15:00~15:50

場所 ANAクラウンプラザホテル札幌 23階「桂」

議題

〈議題〉

- ・第1号議案 2024年度収支予算の変更(案)について
- ・第2号議案 2024年度決算見込みについて
- ・第3号議案 2025年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ・第4号議案 2025年度借入限度額(案)について
- ・第5号議案 旅費規程改正(案)と業務執行体制の見直しについて
- ・第6号議案 2024年度会員の入会・退会状況(2025年3月1日現在)について
- ・第7号議案 北海道機械工業会設立50周年記念事業(案)について

〈その他〉

- ・当面の行事日程について



▲ 正副会長会議の様子

## ○ 第3回理事会

日時 2025年3月24日(月) 16:00~16:55

場所 ANAクラウンプラザホテル札幌 24階「白楊」

議題

〈議題〉

- ・第1号議案 2024年度収支予算の変更(案)について
- ・第2号議案 2024年度決算見込みについて
- ・第3号議案 2025年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ・第4号議案 2025年度借入限度額(案)について
- ・第5号議案 旅費規程改正(案)と業務執行体制の見直しについて
- ・第6号議案 2024年度会員の入会・退会状況(2025年3月1日現在)について
- ・第7号議案 北海道機械工業会設立50周年記念事業(案)について

〈その他〉

- ・当面の行事日程について





▲ 理事会の様子



▲ 理事会初のハイブリッド開催

また、各種委員会会議終了後、引き続き、当会事務局に職員を派遣していただいている派遣元との懇談会が開催され、北海道庁、北洋銀行、北海道銀行の派遣元から、三橋副知事など5名が出席され、近藤会長ほか正副会長と和やかに懇談しました。なお、会長からは引き続き、当会へ職員を派遣していただくよう要望しました。

## ○ 派遣元との交流会

日 時 2025年3月24日(月) 18:00～20:00

場 所 ANAクラウンプラザホテル札幌 地下1階「しののめの間」



▲ 和やかに開催された派遣元との交流会

# 2024年度 交流推進委員会の開催

日 時 2025年3月24日(月)

場 所 ANAクラウンプラザホテル札幌 22階「鈴蘭」

出席者 阿部委員長ほか委員7名 事務局1名

議 題

## 1. 2024年度 事業報告について

今年度は、当会、北海道バイオ工業会、北海道発明協会による「3団体合同企業視察会」を2回開催しました。

- ・第1回目は7月3日(水)に当会主催で実施し、①(株)久原本家北海道 恵庭工場と② 防衛装備庁 千歳試験場を視察しました。(29名)

- ・第2回目は10月16日(水)に北海道バイオ工業会主催で実施し、①(株)北海道キッコーマン 千歳工場と② ゴールドパック(株) 恵庭工場を視察しました。(26名)

## 2. 2025年度 事業計画について

次年度も、当会、北海道バイオ工業会、北海道発明協会による「3団体合同企業視察会」を2回開催する予定です。

- ・第1回目は7月上旬開催予定で、視察先2先は主催の北海道発明協会が選定中です。

- ・第2回目は10月上旬に当会主催で実施し、視察先は①(株)池田歯車製作所と②(株)NICHIOを予定しています。



▲ 交流推進委員会の様子



# 2024年度 受注拡大対策委員会の開催

日 時 2025年3月24日(火) 17:00～17:50

場 所 ANAクラウンプラザホテル札幌 22階「柏」

出席者 表委員長ほか委員6名、事務局1名

議 題

## 1. 2024年度事業報告について

- ① 2024年度「ほっかいどう受発注拡大商談会」(札幌開催) 10月17日
- ② 胆振ものづくり産業取引促進協議会
- ③ 第38回 北海道 技術・ビジネス交流会(ビジネスEXPO) 11月9日～10日
- ④ 青森・秋田・岩手・北海道 合同商談会2024
- ⑤ 半導体関連事業参入情報の発信

## 2. 2025年度事業計画(案)について

- ① 2025年度「ほっかいどう受発注商談会」2025年10月開催
- ② 第39回北海道 技術・ビジネス交流会(ビジネスEXPO)  
2025年11月6日～7日。
- ③ 半導体関連事業参入などの各種情報は引き続き発信してもらいたいとの要望。
- ④ 当会HPリニューアルに際して、他団体との相互リンクなども取り入れたらどうか、との意見も寄せられました。



▲ 受注拡大対策委員会の様子

# 受章おめでとうございます

## 令和6年秋の叙勲受章者発令 (株)産鋼スチール元代表取締役 上遠野 久夫さん受章

2024年11月3日付けで令和6年秋の叙勲受章者が発令され、(株)産鋼スチール元代表取締役の上遠野 久夫さんが旭日単光章を受章されました。

上遠野さんは「受章には会社の元気が必要。会社の元気には社長の元気が必要。会社と社長を元気にするには北海道機械工業会をはじめとする皆様の元気が必要。この3つの元気が揃えば、受章の可能性は無限に広がる。」と述べました。

永年の功績が認められた上遠野さん、この度の受章誠におめでとうございます。

※旭日双光章受章の株協和機械製作所代表取締役 藤枝 靖規さんは新年号に掲載しました。



〈参考〉過去に受章した会員企業 (敬称略、令和以降、役職は表彰当時)

| 受賞年度 | 種別 | 功績概要     | 社名・役職          | 氏名      |
|------|----|----------|----------------|---------|
| 6年秋  | 旭双 | 産業振興功労   | (株)協和機械製作所 社長  | 藤 枝 靖 規 |
| 6年秋  | 旭単 | 産業振興功労   | (株)産鋼スチール 相談役  | 上遠野 久 夫 |
| 6年春  | 旭単 | 産業振興功労   | 東洋農機(株) 会長     | 山 田 政 功 |
| 5年秋  | 旭単 | 産業振興功労   | (株)メデック 社長     | 漆 寄 照 政 |
| 4年秋  | 旭単 | 産業振興功労   | (株)武田鉄工所 会長    | 米 田 ハルミ |
| 4年春  | 旭単 | 産業振興功労   | シンセメック(株) 会長   | 松 本 英 二 |
| 2年秋  | 旭双 | 産業振興功労   | (株)松本鐵工所 会長    | 松 本 紘 昌 |
| 2年春  | 旭単 | 中小企業振興功労 | トルク精密工業(株) 社長  | 高 橋 新 作 |
| 1年春  | 旭双 | 発明考案功労   | (株)昭和冷凍プラント 会長 | 若 山 敏 次 |
| 同上   | 藍綬 | 産業振興功績   | 西條産業(株) 社長     | 西 條 文 雪 |

# (株)新興工業の酸洗専用工場が絶賛稼働中

(表紙より)

同社酸洗専用工場は2017年8月に稼働開始。工場内には最大縦横1.5m、長さ7mの大型酸洗槽を設置。酸洗槽に入らない構造物は、酸洗槽に2度漬けるか、ペースト状の酸洗液を表面に塗布して処理することも可能です。刷毛塗り法ではないので、刷毛ムラもありません。

酸洗いの効果はステンレスを硝酸+フッ酸の混合液で洗うことで、表面に付着した溶接スケールや油脂分ゴミ等を除去し、表面を清浄するとともに不動態化皮膜<sup>\*</sup>を生成させることができます。

## ※不動態化処理

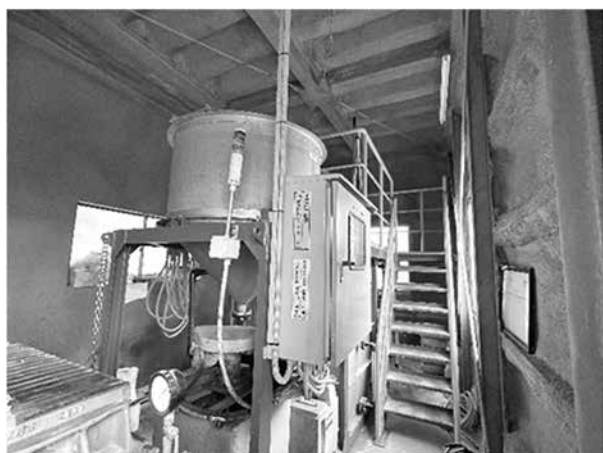
金属の中には、表面に反応性の低い膜を形成するものがあり、このような膜を不動態化皮膜といいます。ステンレスが持つ耐食性はこの皮膜によるものです。ステンレス鋼材は本来、空気に触れることにより、自ら不動態化皮膜を生成します。しかし、この不動態化皮膜は不均一で脆弱な膜のため、不動態化処理を施すことで強制的に均一で強固な膜を形成させる事ができます。



▲ 酸洗工場内部



▲ 大型酸洗槽は長さ7mまで対応可能



▲ 大型の排水処理設備



▲ 酸洗液塗布作業の様子



同社の酸洗いのメリットとしては、他工法と比較し、コストを抑えながら、錆びや溶接焼け等を除去することがあるほか、処理中に外力がかからないため、製品自体の変形がありません。大型の排水処理設備は、1時間に1m<sup>3</sup>の排水処理能力を有します。酸洗による大量の排水を水濁法および下水道法に従った水質に処理して放流することでクライアント社が昨今厳しく求められている環境面の課題の解決にも繋がっています。

同社は1994年2月の創立から2024年でめでたく30周年を迎え、これを記念し本社屋も新設しました。同社の水管橋、保温二重管製造も北海道、長野県、山形県など全国の寒冷地で施工実績を積み重ね、高い評価を受けております。



▲ 酸洗い前(左画像:溶接焼け跡が目立つ)



▲ 酸洗い後(溶接焼けが除去)



▲ アーチ補剛形式水管橋施工実績(長野県佐久市)



▲ 2024年に新設された新社屋

## 株式会社 新興工業

本 社：札幌市西区発寒14条3丁目1-1

電話 011-664-5001

工 場：石狩市新港南1丁目28-69

電話 0133-64-5001



# 『WIND EXPO 国際風力発電展』に 当会が出展

2月に東京で開催された『WIND EXPO 国際風力発電展』に、当会は洋上風力発電関連の展示内容で出展しました。

開催日 2025年2月19日(水)～21日(金)

場所 東京国際展示場<東京ビックサイト> (東京都江東区有明)

出展社数 1, 493社 (うちWIND EXPO 234社)

来場者数 68, 840名 (SMART ENERGY WEEK全体)

| Wind Expo【春】北海道企業(団体)共同出展ブース                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                   | ブース位置: E22-24                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 【出展企業(50音順)】                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                       |
| <b>株式会社エコニクス</b><br><b>『海棲哺乳類調査』(目視調査・a-tag解析)</b><br>洋上風車の建設予定海域に棲息する海棲哺乳類について調査・報告します。目視調査から鳴音解析までお任せください。                                                      | <b>株式会社バーナードソフト</b><br><b>AI音監視システム『エスカレイド』</b><br>設備の「いつもの音」を学習したAIが、リアルタイムで現場を監視し、「いつもと異なる音」を検知します。設備の故障前にアラートを上げてくれるため、予知保全に活用可能です。本格導入前の実証実験を受け付けております。                                                                                       |                                                                                       |
| <b>株式会社沿海調査エンジニアリング</b><br><b>『海と暮らす人の、まいにちを支える』</b><br>～北の海で半世紀、地域と共に『海の豊か』をつくるソリューション～<br>・海洋構造物保守点検・・・O&M 海事業のプロフェッショナル<br>・生物調査、陸上養殖・・・水産資源 サステイナブルシーフード<br>・アクティブティ・・・ブルーツーリズム 交流人口・関係人口<br>・商品づくり、流通・・・海業、地域ブランディング 稼ぐ力UP                     | <b>函館どつく株式会社</b><br><b>『北海道から世界へ。ここにしかない「ものづくり」。』</b><br><b>《新造船事業、修繕船事業、鉄構機械事業》</b><br>北海道の函館と室蘭に拠点を構え、ばら積み貨物船やフェリーなどの新造船、艦艇・船舶の修繕、橋梁や港湾設備製作などの事業を展開しております。                                                                                      |                                                                                       |
| <b>株式会社カナモト</b><br><b>『計測遠隔モニタリングシステム』</b><br>船室や事務所などから離れた位置の計測データをモニタリングができます。他にも目標位置をAR画像で表示させ安全性と作業精度の向上を図るシステムの『Zero Guide』もパネル展示しています。                     | <b>株式会社北海電工</b><br><b>『再生エネルギー関連のプロジェクトにおいて計画段階から施工、運用・保守に至るまで一貫したサポートを提供します。』</b><br>「地域と共に成長する企業」を理念に掲げ脱炭素社会の実現を目指しています。                                   |                                                                                       |
| <b>苫小牧栗林運輸株式会社</b><br><b>『風車O&amp;M事業』～未来を支える 確かな技術～</b><br>風車O&M事業へ参入のため、技術と知識を兼ね備えた人材育成を進めております。さらに水中ドローンを既に導入しておりますので海中調査等も可能です。安全第一で信頼性の高い運用とサービスの提供を目指します。  | <b>一般社団法人北海道機械工業会</b><br><b>『北海道ものづくりサプライチェーン』</b><br>北海道での展開が期待される洋上風力発電に対し、部品供給やメンテナンス等に関する「地元サプライチェーン」の構築を目指しています。北海道で洋上風力発電事業を検討中の皆様へ、ニーズに合った企業をご紹介します。  |  |

WIND EXPO国際風力発電展は世界最大級の新エネルギー総合展「SMART ENERGY WEEK」の中の1分野として、太陽光発電・水素や燃料電池・スマートグリッド等と並んで「洋上風力発電」展示会として開催されました。

当会は北海道が設置した共同出展ブースの1社として出展し、北海道で着工が見込まれる洋上風力発電の「サプライチェーン構築」に向けて会員企業を紹介しました。特に国内大手電力事業者や海外企業(ドイツ・フランス等)から北海道内で事業展開する際の当会支援を求められるなど、洋上風力発電参入を目指す企業と太いパイプを築くことが出来ました。

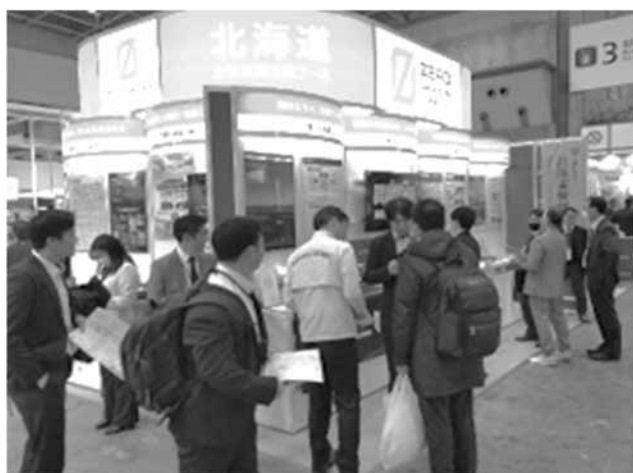
政府は2040年度の電源構成に占める再エネの割合を現在の2割から4～5割へ引き上げる方針で、北海道における2040年までの洋上風力発電の導入目標を最大1,465万キロワット（原発15基相当）としています。北海道の海域では着々と準備が進められ2030年頃には発電がスタート見込みであり、道内企業が新設工事やメンテナンスに参入できるよう当会では今後も情報収集を図っていきます。



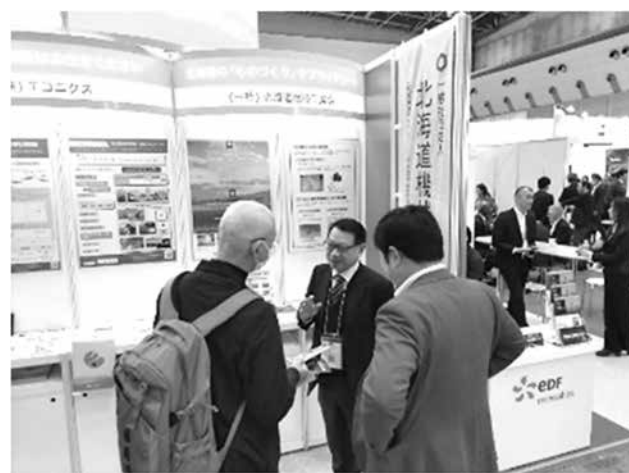
▲ WIND EXPO 会場入口



▲ 風車模型等の様々な展示



▲ 北海道の「共同出展ブース」



▲ 当会の展示ブース

## 「企業間連携推進室」だより

# ものづくり技術力強化エキスパート派遣制度 2024年度 成果発表会 「これからの時代のモノづくり(デザイン・DX)」の開催

本年度、当会では、北海道の委託事業「ものづくり産業分野人材確保事業(専門家派遣・成功事例創出)」を受け、道内ものづくり企業を対象にした「ものづくり技術力強化エキスパート派遣制度」を行ってきました。その結果、17社102件の派遣指導を行ないましたので、「成果発表会」によりその成果の一端を紹介しました。今回は基調講演および3企業からの成果発表を行ない、企業の担当者と指導エキスパートから実践に即しての興味深く、有益な課題解決法をお聞きできました。次年度も、引き続き成果の紹介を行なう予定です。詳細は次の通りです。

日 時 2025年2月5日(水) 14:00~16:10

場 所 ジョブキタプラザ 6F会議室(札幌市中央区南1条西6丁目20-1 ジョブキタビル6F)

主 催 北海道、(一社)北海道機械工業会

参加者 会場: 26名(事務局関係者、エキスパート含む)

オンライン: 16名 計 42名

### 内 容

- (1) 開会挨拶 (一社)北海道機械工業会 専務理事 安田 直樹
- (2) 技術力強化エキスパート派遣制度の概要について 企業間連携MG 飯田 憲一
- (3) 基調講演「新商品開発の発想とテーマ」  
高橋尚基デザイン事務所 代表 高橋 尚基 氏
- (4) 成果発表

#### <テーマ>

#### <発表企業>

#### <発表者>

- ① 「DXを活用した工程管理システムの構築」 (株)菅製作所 菊池 香枝 氏
- ② ものづくり+デザイン力による製品化の取組み  
「結露防止ヒーター『aru(アル)』の開発から販売まで」  
(株)ナカガワ工業 河谷 佳則 氏
- ③ 「車中泊用家具『バンファニチャー(N-BOX専用)』の開発」  
(株)岡田建具製作所 小泉 雅博 氏



▲ 基調講演(高橋氏)



▲ (株)菅製作所





▲ (株)ナカガワ工業



▲ (株)岡田建具製作所

## 北海道機械工業会&室蘭工大コラボによる高度技術セミナー 「進化する AM 技術(3Dプリンタ)の最新動向と活用事例」を開催!

試作のイメージが強い3Dプリンタの活用ですが、積層技術の高度化によって、量産部品への適応が進んでいます。特に多品種少量生産が増えているものづくり業界では、航空機部品の複雑形状の一体加工や、金型部品のリードタイムの短縮など、さまざまな産業革新に貢献しています。

今回のセミナーでは「進化するAM技術(3Dプリンタ)の最新動向と活用事例」をテーマに、4名の講師をお招きし、最新の3Dプリンタの技術動向や導入事例等について解説していただきました。会場には多数の参加者が集まり、大変有意義なセミナーを開催することができました。

日 時 2024年12月19日(木)13:30~16:40

場 所 北農健保会館 3F 大会議室 (札幌市中央区北4条西7丁目)

主 催 (一社)北海道機械工業会 (自動車関連部会、機械製缶部会、札幌支部)  
室蘭工業大学 MONOづくりみらい共創機構

参加者 会場19名(講師、関係者含む) オンライン30名 計49名

### 内 容

(1) 開会挨拶 (一社)北海道機械工業会専務理事 安田 直樹

(2) 『AM技術で地方のものづくりを活性化』

室蘭工業大学 もの創造系領域 機械ロボット工学ユニット

准教授 楠本 賢太 氏

(3) 『ワイヤレーザDED方式金属3Dプリンタの最新技術・活用事例』

三菱電機(株) FAシステム事業本部 産業メカトロニクス事業部

Chief Expert 小川 元 氏

(4) 『金属AM造形材の鋳造分野への応用と新規多孔質構造の開発』

北海道立総合研究機構 工業試験場 材料技術部 素形材技術G

主査 鈴木 逸人 氏

(5)『金属AMものづくり～最新要素技術から企業での実用例～』

(株) I H I 技術開発本部

技師長 根崎 孝二 氏

(6) 閉会挨拶

室蘭工業大学 MONOづくりみらい共創機構

副機構長／地域共創オフィス長／教授 吉成 哲 氏



▲ 講師(楠本氏)



▲ 講師(小川氏)



▲ 講師(鈴木氏)



▲ 講師(根崎氏)

## CASE 対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業 「第2回 電動化に向けた競争力強化セミナー」の開催

カーボンニュートラルやCASEの潮流など、自動車業界は100年に一度の大変革期を迎えています。当会は、2024年度、経産省委託事業「CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業」に取り組み、電動化に向けた競争力強化セミナーを開催しました。北九州産業学術推進機構（FAIS）中村氏から将来の電動化時代に向けて自社内の品質管理について、松本工業㈱早川氏から脱炭素新工法の開発に取り組む事例などについて、講演していただきました。自動車業界への新規参入やEV化には現場力強化が重要であること、自動車業界に生き残りをかけて脱炭素化の技術開発に取り組んだことなど、参加企業にとって大変参考になりました。

## 第2回電動化に向けた競争力強化セミナー

「脱炭素化の潮流を読み、成功するための手法や具体的事例を紹介」

開催日 2025年1月16日(木)15:00~17:00

場 所 北農健保会館 3階 芭蕉 \*オンラインセミナー同時開催

講 師 第1部 (公財)北九州産業学術推進機構

自動車産業支援センター長 中村 聡 氏

第2部 松本工業株式会社取締役

Jmec本部長 早川 弘幸 氏

参加者 34名 (講師・事務局関係者含む)

内 容 第1部 「FAISの自動車サプライヤー支援や競争力向上に向けた品質マネジメント活動の強化」

第2部 「環境変革の時！CNへの挑戦ーCO<sub>2</sub>を排出しない溶接レス接合工法の開発」



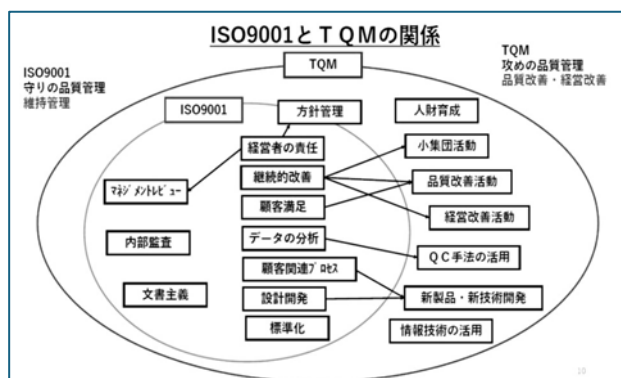
▲ 講師の中村 氏



▲ 講師の早川 氏



▲ 会場の様子



▲ TQM の重要性(講演資料から)

# 企業経営環境に関するアンケート調査結果

当会では毎年四半期に1度、会員企業の皆様に道内の製造業の経営状況を把握するためのアンケート調査を実施いたしました。アンケートは330社に送付、176社から回答をいただき厚くお礼申し上げます。

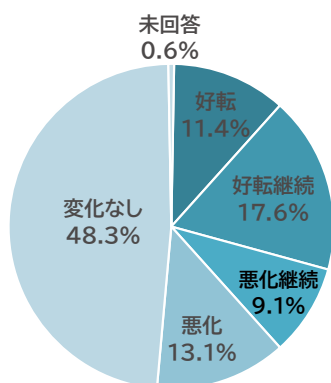
2025年1月（2024年10月～12月対象）の調査結果につきまして、前回調査時（2024年7月～9月対象）と比較し、現況が「悪化が継続」、「悪化」しているとした企業が22.2%（1.1ポイント増）となっており、「好転」、「好転継続」いているとした企業は29.0%（1.5ポイント減）となっています。

今後の見通しについては、「変化なし」と見る企業が44.9%（5.4ポイント減）、「悪化」、「悪化継続」と見る企業が36.4%（13.4ポイント増）、「好転」、「好転継続」すると見る企業は18.8%（5.4ポイント減）となっています。

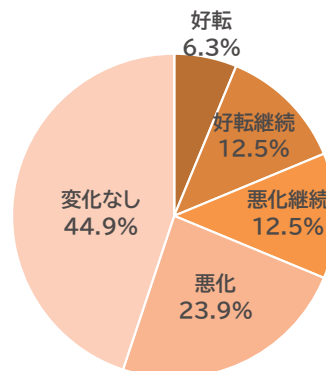
前回調査時と比較して、実績で「悪化」、「悪化継続」しているとした企業は増加し、見通しでも悪化（継続）すると見る企業が増加傾向となっています。

この調査結果は北海道に提出し、今後の行政施策等に活用して頂くこととしています。引き続き、調査にご協力よろしくお願いたします。

## 業況の現況と見込み【2025年1月調査】

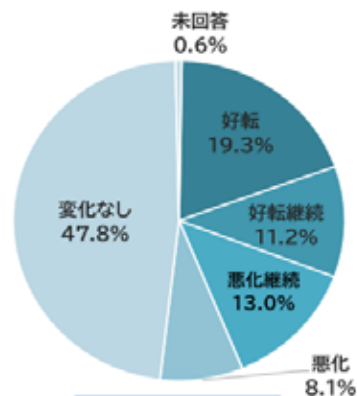


現況  
2024年10月～12月

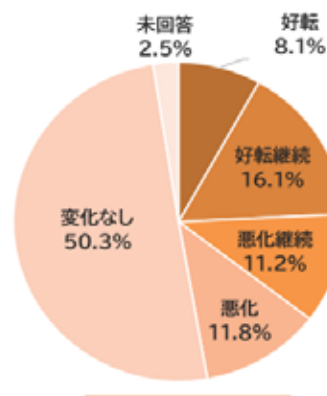


見込み  
2025年1月～3月

## 業況の現況と見込み【2024年10月調査】



現況  
2024年7月～9月



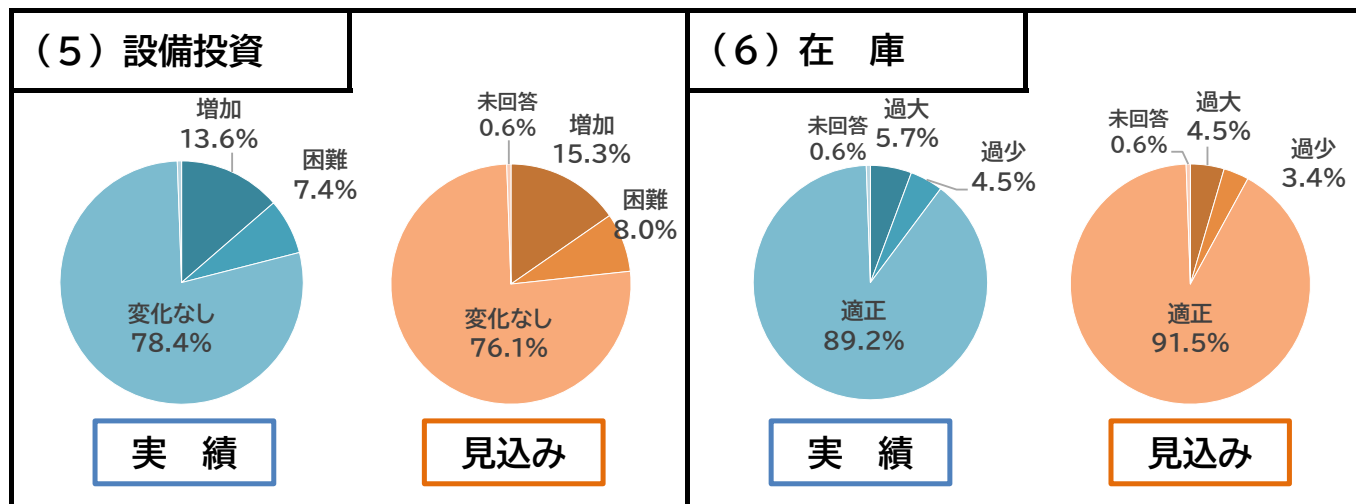
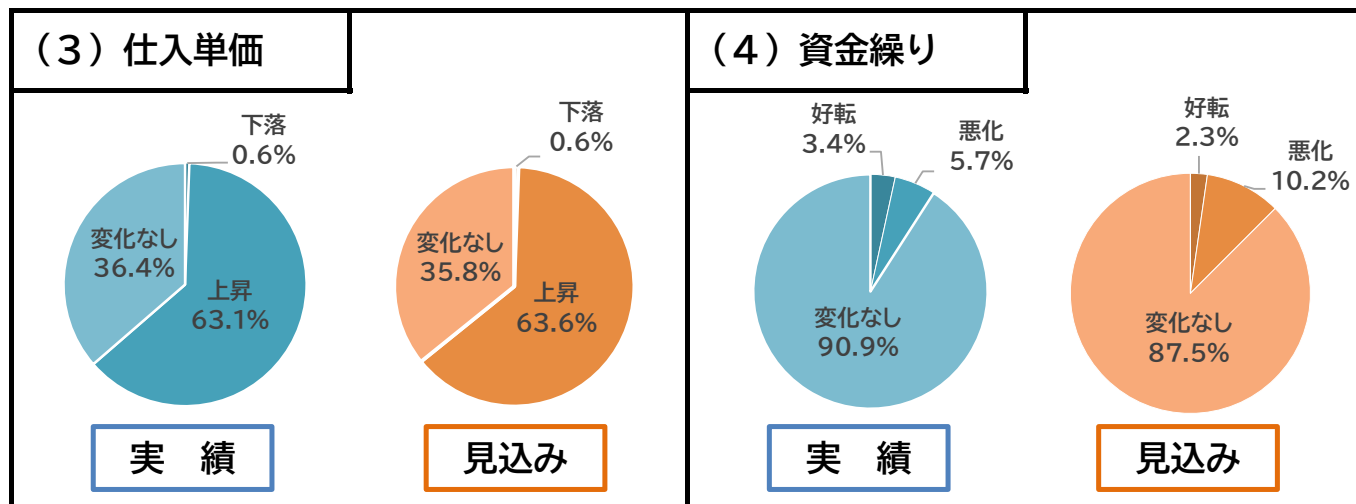
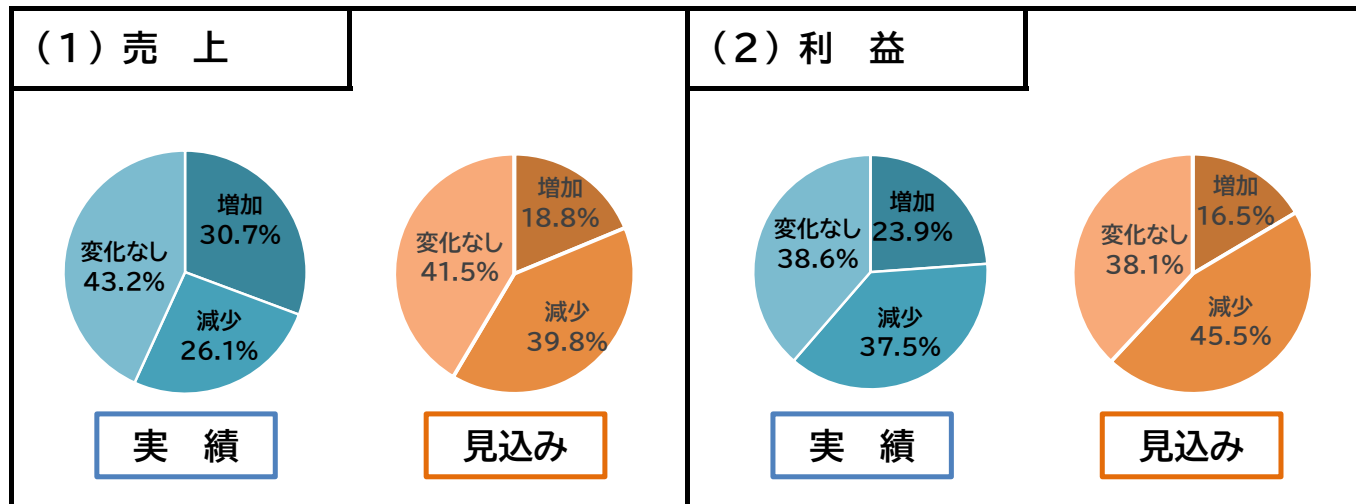
見込み  
2024年10月～12月



# ◆ 業況項目別 ◆

回答企業：176 社

| 実績<br>(対 前回調査比) | 2024.10月～2024.12月 | 見込み | 2025.1月～2025.3月 |
|-----------------|-------------------|-----|-----------------|
|-----------------|-------------------|-----|-----------------|



◆ 当面の問題点 等 ◆

回答企業： 176 社

当面の問題点 （3項目以内 複数回答）

| 項 目            | 回答数 | 割 合   |
|----------------|-----|-------|
| ①売上不振          | 54  | 30.7% |
| ②人件費増加         | 63  | 35.8% |
| ③人手不足          | 112 | 63.6% |
| ④原材料仕入価格上昇     | 96  | 54.5% |
| ⑤販売価格下落        | 13  | 7.4%  |
| ⑥設備不足          | 10  | 5.7%  |
| ⑦資金調達          | 6   | 3.4%  |
| ⑧諸経費の増         | 51  | 29.0% |
| ⑨取引先からの価格値下げ要請 | 5   | 2.8%  |
| ⑩競争激化          | 20  | 11.4% |
| ⑪手形期日の長期化      | 2   | 1.1%  |
| ⑫その他           | 2   | 1.1%  |
| 合 計            | 434 | —     |

割 合（項目別回答数／企業数：176）

①売上不振

30.7%

②人件費増加

35.8%

③人手不足

63.6%

④原材料仕入価格上昇

54.5%

⑤販売価格下落

7.4%

⑥設備不足

5.7%

⑦資金調達

3.4%

⑧諸経費の増

29.0%

⑨取引先からの価格値下げ要請

2.8%

⑩競争激化

11.4%

⑪手形期日の長期化

1.1%

⑫その他

1.1%

|                               |
|-------------------------------|
| 人手不足に対する対策 その他記述              |
| ・ 図面決定遅れ                      |
| ・ 大型工事の遅延、延期が多すぎて工程管理に支障がでている |

人手不足について

① 人員について

| 項 目    | 回答数 | 割 合   |
|--------|-----|-------|
| 不足している | 129 | 73.3% |
| 適当である  | 43  | 24.4% |
| 過剰である  | 3   | 1.7%  |
| 合 計    | 176 | 100%  |

過剰である  
1.7%

適当である  
24.4%

不足している  
73.3%

|     |     |      |
|-----|-----|------|
| 合 計 | 176 | 100% |
|-----|-----|------|

割 合（項目別回答数／「人員が不足している」を選択した企業：129）

パート

6.2%

一般職員

34.9%

専門技術者

89.9%

パート

6.2%

一般職員

34.9%

専門技術者

89.9%

(複数回答)

② 人手不足に対する対策について （①で「人員が不足している」を選択した企業）

| 項 目          | 回答数 | 割 合   |
|--------------|-----|-------|
| ①従業員の定年延長    | 57  | 44.2% |
| ②中途採用        | 102 | 79.1% |
| ③I・Uターンの活用   | 33  | 25.6% |
| ④ハローワークの活用   | 77  | 59.7% |
| ⑤民間求人情報誌等の活用 | 56  | 43.4% |
| ⑥外国人の採用      | 23  | 17.8% |
| ⑦その他         | 7   | 6.3%  |
| 合 計          | 355 | —     |

割 合（項目別回答数／「人員が不足している」を選択した企業：129）

①従業員の定年延長

44.2%

②中途採用

79.1%

③I・Uターンの活用

25.6%

④ハローワークの活用

59.7%

⑤民間求人情報誌等の活用

43.4%

⑥外国人の採用

17.8%

⑦その他

6.3%

在留資格者  
6

特定技能  
11

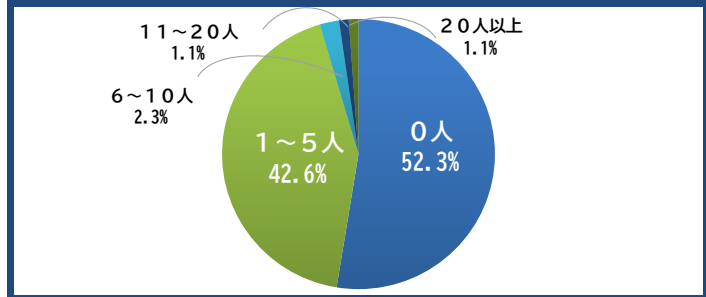
技能実習生  
17

(複数回答)

| 人手不足に対する対策 その他記述 |              |
|------------------|--------------|
| ・紹介に因る           | ・自社HPからの直接採用 |
| ・定期的な学校訪問で新卒確保   | ・縁故採用制度導入    |
| ・中途採用の推進         | ・コンサルティングの活用 |
| ・社員からの採用紹介       | ・再雇用制度の設立    |
| ・退職者のキャリアリターン    | ・本社との人員連携    |
| ・派遣採用            |              |

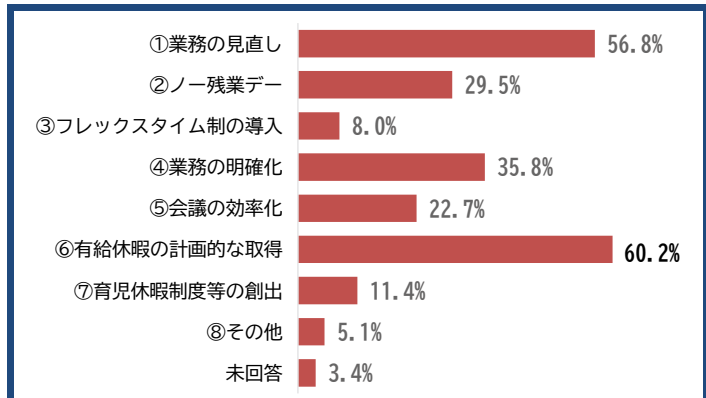
③ 2024年10月からの採用人数について

| 項 目    | 回答数 | 割合    |
|--------|-----|-------|
| 0人     | 92  | 52.3% |
| 1～5人   | 75  | 42.6% |
| 6～10人  | 4   | 2.3%  |
| 11～20人 | 2   | 1.1%  |
| 20人以上  | 2   | 1.1%  |
| 未回答    | 1   | 0.6%  |
| 合 計    | 176 | 100%  |



働き方改革（就業環境の改善や多様な人材の活用、生産性の向上等）への取組み（複数回答）

| 項 目           | 回答数 | 割合    |
|---------------|-----|-------|
| ①業務の見直し       | 100 | 56.8% |
| ②ノー残業デー       | 52  | 29.5% |
| ③フレックスタイム制の導入 | 14  | 8.0%  |
| ④業務の明確化       | 63  | 35.8% |
| ⑤会議の効率化       | 40  | 22.7% |
| ⑥有給休暇の計画的な取得  | 106 | 60.2% |
| ⑦育児休暇制度等の創出   | 20  | 11.4% |
| ⑧その他          | 9   | 5.1%  |
| 未回答           | 6   | 3.4%  |
| 合 計           | 410 | —     |



| 働き方改革への取組み その他記述  |                 |
|-------------------|-----------------|
| ・完全週休二日制の導入       | ・RPAによる事務効率化    |
| ・有給休暇取得奨励、誕生祝い金支給 | ・DXツール導入        |
| ・残業無し             | ・すべての作業の合理化の見直し |
| ・人材の採用と育成、適正配置    |                 |

道の施策に対する意見や要望事項

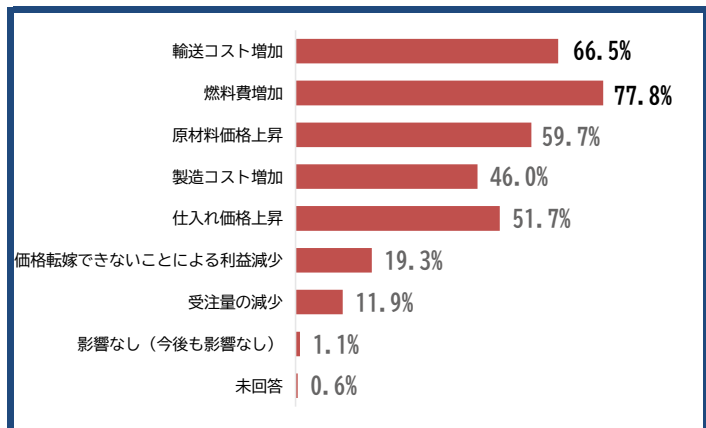
- 電気料金軽減策の充実
- 昨年実施していた、燃料費高騰に対する補助金等を再開して欲しい
- エネルギー高騰の抑制をお願いしたい
- エネルギーコスト（電気・燃料）上昇における製造業への支援・補助
- 繰り返しになりますが、エネルギーコスト（電気、灯油など）の高止まりへの補助金を継続願いたい
- LPG価格上昇への補助金が欲しい
- インフラ料金の増加への対策
- 設備導入、点検費用、各種資格取得費用などに補助金を出してほしい
- 設備の投資に対して減税等の対策をお願いしたい。
- 設備導入（更新）に限らず、故障修理に対しても補助が可能になる施策について検討してほしい
- 補助金や助成金の充実
- 衰退していく空知の産業に補助金や資金の援助が必要
- 物流費援助、長万部町の活性化

- 再雇用制度導入に関する助成金の内容拡充
- デジタル化（ＩＴ導入）に関する補助金申請の要件緩和
- 工業系大学、専門、高校への道内中小企業の優位性訴求事業の推進
- 働き方改革の見直し
- 補助金など申請複雑で作成に時間を要するため簡易にしていきたい
- 人材確保、収入増
- どんどん企業が減り、道全体の活気が失われていくことにならないよう歯止めをかけてほしい
- 賃金を上げるためには、原資となる売上・利益が確保されなければなりません。企業努力も重要ですが、特に利益を確保するための原価管理に含まれる、工場経費の電気や燃料等の補助等は施策等も含めて検討してもらいたいです。  
また、人材不足は地方に行けば行くほど深刻な状況です。先を考えるとこの状況が好転する見込みはなく、DXや自動化するにも限界はあります。外国人労働者の採用のしやすさや、ものづくり企業の地位向上等から、日本の若い世代に働きたいと、思っただけの環境づくりを共に進めていただきたいです。

## 原油価格の高騰に伴う影響について

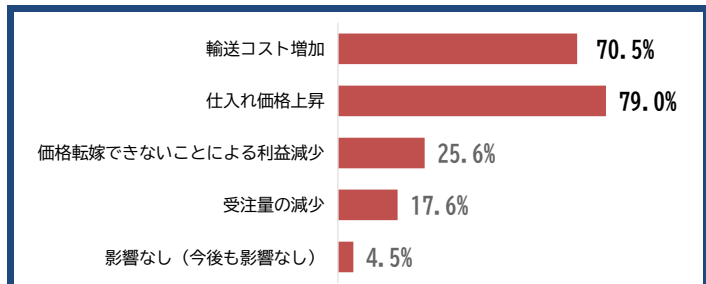
### 【原油価格の高騰に伴う具体的な影響】（複数回答）

| 項 目               | 回答数 | 割 合   |
|-------------------|-----|-------|
| 輸送コスト増加           | 117 | 66.5% |
| 燃料費増加             | 137 | 77.8% |
| 原材料価格上昇           | 105 | 59.7% |
| 製造コスト増加           | 81  | 46.0% |
| 仕入れ価格上昇           | 91  | 51.7% |
| 価格転嫁できないことによる利益減少 | 34  | 19.3% |
| 受注量の減少            | 21  | 11.9% |
| 影響なし（今後も影響なし）     | 2   | 1.1%  |
| 未回答               | 1   | 0.6%  |
| 合 計               | 589 | —     |



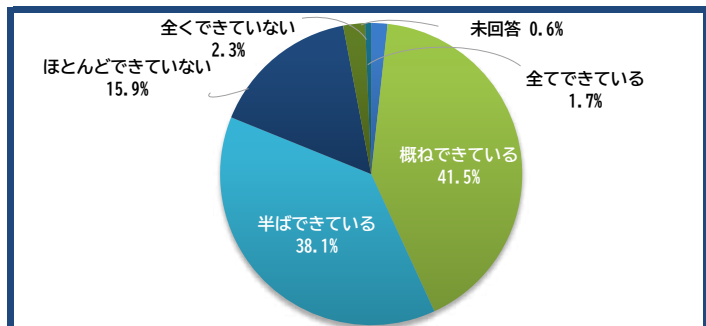
### 【原材料価格の高騰に伴う具体的な影響】（複数回答）

| 項 目               | 回答数 | 割 合   |
|-------------------|-----|-------|
| 輸送コスト増加           | 124 | 70.5% |
| 仕入れ価格上昇           | 139 | 79.0% |
| 価格転嫁できないことによる利益減少 | 45  | 25.6% |
| 受注量の減少            | 31  | 17.6% |
| 影響なし（今後も影響なし）     | 8   | 4.5%  |
| 合 計               | 347 | —     |



## 原油価格、原材料価格等の高騰に係る価格転嫁について

| 項 目              | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| 全てできている          | 3   | 1.7%  |
| 概ねできている（6～9割）    | 73  | 41.5% |
| 半ばできている（3～5割）    | 67  | 38.1% |
| ほとんどできていない（2割以下） | 28  | 15.9% |
| 全くできていない         | 4   | 2.3%  |
| 未回答              | 1   | 0.6%  |
| 合 計              | 176 | 100%  |



【価格転嫁が 進んだ 理由】 全てできている

- 客先と真摯に折衝した
- 世の中が騒いでいるから客先には説得しやすい

【価格転嫁が進んだ理由】 概ねできている（6～9割）、半ばできている（3～5割）

- 顧客理解
- 自社販売価の値上交渉による
- 取引先との交渉
- 客先との価格交渉の成果
- 価格転嫁先に対しての時間をかけた丁寧な価格交渉
- 個別に継続的に交渉を実施している。
- 消耗品は都度値上げ交渉している。
- 一昨年から、客先へはお願いをしていた成果が出ている。
- 納品先との話し合い結果
- 原材料費、人件費に対し見積書を30%アップにて提出してほぼほぼ認められてきている。
- ユーザー指示による再見積り等
- 個別の見積に対しては調整はしやすいが、継続の契約等は難しい。
- 時価にて見積積算、受注を狙うこと
- 見積時に反映
- 受注生産であり、製造する度に見積もりを行っているため。
- 取引先への説明
- 納得いただけるような丁寧な説明を心掛けた。
- 仕入れ価格上昇分に付いては、客先に説明し概ね転嫁できている。
- 顧客への説明と交渉、業界団体を通じての情報発信
- 業界の周知
- 客先が大手なのが進んだ要因
- 大手の価格競争力が影響
- 仕入れ値の上昇に伴い、比例して価格も上昇させている。
- 一部価格転嫁が出来ている。
- 経費増の理解
- 下請に対する適切な配慮があり価格転嫁が進んだ。
- 得意先のメインが親会社なため適正に実施している。
- 官庁工事についてはインフレスライドによる。
- ユーザーの体制による。

【価格転嫁が 進まない 理由】 概ねできている（6～9割）、半ばできている（3～5割）

- 需要減少による競争激化
- GCの価格競争が激しく、道外業者の流入により価格を抑えなければ受注できない為。
- お客様はあくまで坪単価を目安にしているので、なかなか重量に対する価格が伴わない。
- 2～3年後に製造する製品の見積もりを提出するため、原価上昇の予測が難しい。
- 価格転嫁には時間を要するので政府による指導を願う。
- 受注済み案件に係る価格転嫁が困難。
- 単一顧客に対し年間2度以上の値上げが困難（材料費は年間2度以上上昇）。
- 価格高騰スピードについていけない。
- 高騰の頻度が多く、価格転嫁が追いつかない。
- 先に来る値上げについていくのがやっとなのである。
- 鋼材に関しては価格転嫁は出来ているが、工場加工費に掛かる副資材関係（溶接材料・電気・ガス等）の値上げについては、まだ転嫁が進まない。（工事全体を遅らせて、工事金額を調整している物件が多い）
- 進んでいません。仕入れ価格が上がりそれだけで提供金額か上がって人件費を比例して上げられないのが現状です。



- 相見積もり等がある場合は、どうしても安い方に決まるので、価格転嫁をして、適正な利益を得ることができない。
- 顧客が値上げを認めないため。
- 客先からの価格下げの要望が大きい。
- 競合に対するリスク。取引先がなかなか満額認めてくれない。
- 海外の取引先の多くは価格転嫁に応じない。
- 正確な時間単価が算出しにくい。
- 元請業者事態が価格転嫁でききらず、転嫁に至らない。
- 顧客の設備投資予算が過去実績を参考に設定されているが、製造コスト・原材料価格、輸送コストは想定以上に上昇している。
- 機械設備等の兼ね合いもあり難しい状況になっています。
- 無理に転嫁を要請していくと、最終的に建築工事自体の延期あるいは中止につながる可能性がある。
- ガソリン値上げ

### 【価格転嫁が 進まない 理由】    ほとんどできていない（2割以下）、全くできていない

- 販売価格に対する原材料費の理由付けができない。価格再計算の工数が足りない。
- 受注先との交渉が上手くいかない。
- 転化した価格で見積しても、全体金額から値下げ要求されるため。
- 客先の指値が、適正価格とは思えない金額の時がある。
- 見積単価に反映できていない。
- 価格転嫁は下請FABには特に難しい問題で有ります。
- 製品の価格改定時期を考え中。
- 現在、価格改定交渉中。
- 販売競争の激化
- 本州企業との価格競争があるために、価格差が埋められない。
- 受注量が減り、元受けの競争激化による影響。
- 働く人の労働環境を法律で整備することは基本的に間違ったことではないが、行き過ぎた労働時間制限など法改正により、働きたくても働けないような日本経済低迷の方向への労働者過保護社会を作っているのが問題。法律が日本社会の生産性を落とし、無駄にコストアップにつながっている。使用者と労働者のバランスを考えた法整備が必要。
- 需要が停滞しているため、顧客に値上げできる余裕がない。
- 広く薄く影響があるため製品価格に反映するのが難しい。
- 本社との調整が出来ていない。

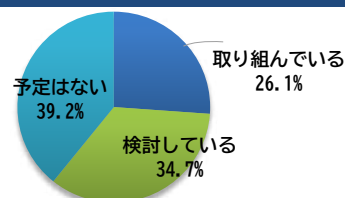
### 価格転嫁以外の対応策について

- 経費削減
- 細かい経費節減に努める。
- 経費増の相互理解
- 社員へのコスト意識を高めるために経費明細を細分化をして共有。
- コスト低減活動を図っている。
- 人件費の効率化（作業）による経費削減
- 人件費以外の経費削減
- 消耗品に付いては価格転嫁できていない物もあるので、今後も削減に取り組むようにする。
- 社内経費の見直し改善を実施している。
- 原価低減活動の推進強化
- 無駄をなくす努力
- 社内効率化
- 工場レイアウト変更での効率化を進めてる。
- 生産性向上
- 生産性向上による工数短縮など
- 生産工程の見直しによる生産性向上
- 社内的な生産性のカイゼン

- 工場稼働率の見直し
- 引き合いを仕入れ先を取る際3社見積もりをとるようにしている取っている。
- 鋼材等の海外ベンダーからの購入を検討、実施している。
- 相見積などによる他社比較
- 材料・資材等を複数社にて相見積りを実施
- 材料仕入タイミングの検討や仕入れ先の二社比較購買
- 仕入れの際の相見積もり
- 仕入れ先に対して個別に交渉を実施した。
- 仕入れ先を本社購買部門と検討
- 仕入関係業者の価格協力及び業者複数社による競合にて決定
- 仕入材料の一括購入
- 仕入れ業者の増加
- 仕入先変更
- 仕入れ方法の変更
- 道外からの仕入れ
- 材料の仕入れを抑え、キャッシュアウトをしないように気をつけている。
- 1社購買から2社購買へ変更
- 材料発注時の価格交渉やコストダウン
- 集中購買化
- 代替品の検討
- 同等や相当品の比較等を行っている。
- 安価品の採用検討
- 安価な再生原料を探す。
- 製造コスト削減の設備投資
- 工場内のLED化など省エネ設備導入
- 省力化・効率化のための設備導入
- 省エネルギー設備の検討
- 節電デマンド管理
- 無駄な残業をしない。
- 残業を減らす。
- 業務効率化による残業の削減
- 製造原価の細部に渡る見直し
- VE、VAによるコストダウンの提案、原材料を顧客に支給してもらうなど
- リアル会議のWeb会議化
- 合理化の為、AIやITの活用
- お客様にご理解頂けるよう説明・交渉
- 特効策は見出せないです。

## DX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みについて

| 項 目         | 回答数 | 割合    |
|-------------|-----|-------|
| 既に取り組んでいる   | 46  | 26.1% |
| 取り組みを検討している | 61  | 34.7% |
| 取り組みの予定はない  | 69  | 39.2% |
| 合 計         | 176 | 100%  |



### 【既に取り組んでいる】実施例

- 基幹システムの刷新
- 独自の生産管理システムの導入
- 社内根幹システムの導入、工場内Wi-Fi導入、作業進捗状況のリアルタイム把握
- 新規にCADシステムを導入

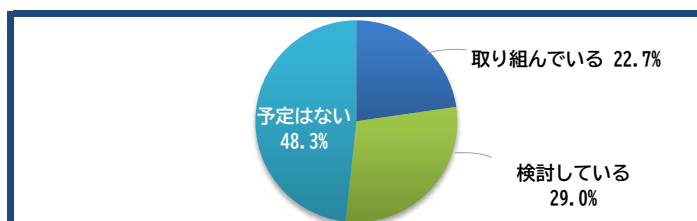
- 本社展開システムの横展開
- 設計図書類のクラウド管理・共有
- 経理仕分けのIT化、日報・スケジュール等の現場作業をクラウド活用など
- 設計図書類のクラウド管理に取り組んでいる。今後は流用設計に拡大予定。
- AI導入による効率化
- AIなどのデジタル技術を活用して業務効率アップを図っている。
- 帳票類の電子化、RPA・生成AI・アプリ等の活用による業務改善・効率化他
- 電子化
- 紙資料の電子化、ワークフローの推進、定型業務の自動化
- 紙書類を一部デジタル化。WEB会議部分的に導入。
- 製造現場でのマニュアルのデジタル化
- ウェブ会議の実施
- デジタル機器を用いての社内情報の共有化
- Microsoft365の活用
- 生産記録、在庫管理、予備部品管理
- 工場生産ライン及び工程管理
- 大型ディスプレイを活用した生産計画等
- 号口ラインに設備IoTを導入等
- PPA制度により太陽光発電、バイオマスボイラーによるCO2削減、ソーラーカーポート
- タブレット端末を利用した生産性のカイゼン
- accessの活用
- リモートミーティング、窓、タブレット
- ワイドエリア三次元測定機の導入
- 製品の3Dモデルの活用
- 社内教育によるDX推進

#### 【取り組みを検討している】検討内容

- ペーパーレス化
- 紙の製作図面をタブレット化して実用試験をしている
- 生産管理において全社各部門にタブレット等の活用で、情報の共有・ペーパーレス化を検討
- 図面をタブレット管理 クラウドデータ保存
- CADシステムにリアル4やBIMの採用を検討
- 経営指標の一元管理(部門個別システムの統一化によりデータ連携強化)
- 原価管理、生産管理に係るシステムを開発委託中
- 精算システムの電子化、帳票の電子配信を実施済み
- 経理・人事のDX、情報システムのDX
- 工程管理の見える化(スマホ等の利用)、臨場育成システム(現場が離れていてもスマホカメラ等の活用で指示等の解決をする仕組み)等の検討
- 経理業務のソフト導入
- 設計ソフトとハードの導入、勤怠管理デジタル化
- 勤怠管理
- 業務効率化、生産性向上
- 生産性向上、製造コスト削減
- 生産ラインの一部自動化
- 設計から製造・出荷までの一連の作業効率改善をDXで実施できればと考えている。
- AI搭載検査ロボット投入に向けた検討
- 営業DX化やAIチャットボットを活用した問い合わせ対応
- システム化
- 導入コスト等
- 稼働情報の可視化
- 自動化の推進
- 専門組織の構築
- 取り組みたいと思っているが 何から始めるべきか、やり方は?の段階 時間が無い。
- DXについて社内課題を抽出中であるが、リーダー的な存在が固まらず上手く進んでいない。
- まだどうすればいいかわからない。

## カーボンニュートラル実現に向けた取り組みについて

| 項 目         | 回答数 | 割合    |
|-------------|-----|-------|
| 既に取り組んでいる   | 40  | 22.7% |
| 取り組みを検討している | 51  | 29.0% |
| 取り組みの予定はない  | 85  | 48.3% |
| 合 計         | 176 | 100%  |



### 【既に取り組んでいる】実施例

- 省エネ設備の導入
- 省力機器の導入及び使用
- 省エネ機械などへの切り替え
- LEDに変えた。省エネ精密機械の設備を一部導入
- 全員参加の徹底した省エネ、再エネによる電力供給等
- 計画を作成し省エネ、再エネ、第3スコープで仕入れ先へのCN取り組み依頼
- 照明のLED化、省電力機器の導入、純水素型燃料電池の導入、ソーラーパネルの導入
- 省エネ活動推進、太陽光発電・バイオマスボイラ導入他
- 設備投資時に省エネ設備を選定している。
- 照明をすべてLEDに交換
- ソーラー発電、LED照明
- 太陽光発電の導入
- 太陽光発電、水電解装置、燃料電池などの再エネシステム導入
- 電力のデマンド管理
- 廃木材の暖房燃料活用、自家消費型太陽光発電設備の検討
- 灯油暖房機の電気品化、北電カーボンプランの導入など
- カーボンフリー電力の購入
- フォークリフトのEV化
- 鋼板メーカーで炭素使用料を抑えた鋼板を仕入れて加工販売している。
- CO2排出削減できる塗装ブースの設備投資
- 車両の入替（燃費向上）、工場LED化、作業時間短縮等
- 冷媒配管施工方法
- モーター類のインバーター化、炉の放熱（保温）対策、太陽光パネル（25年秋設置予定）
- 木造非住宅推進
- GHG算定・可視化
- 推進客席工事に対応し業務を請けている。
- 廃棄物低減に向けた管理

### 【取り組みを検討している】検討内容

- 電動船、ハイブリッド船の検討
- ハイブリッド車購入等
- 電炉材の使用等
- 電炉材の扱いの増加
- ソーラー発電による電力供給
- ソーラーパネル設置
- 電気利用の効率化鋼材の選定等
- 環境エネルギー設備の導入、グリーンエネルギーの購入を検討
- 燃料の変更
- 灯油の使用量削減

- 灯油バーバーを電気式加熱装置への変更検討
- 弊社主力製品のスパイラルアンカーの販売拡充（コンクリートに替わる基礎工法）
- 電気フォークリフト導入
- 設備の更新検討
- 廃棄プラスチックの削減
- 社内保有車両の共有化（保有台数削減）
- 排出量の測定
- グリーン鋼材の検討
- 北海道の「カーボンニュートラルファーストステップ支援事業委託業務」に基づく「カーボンニュートラル化プラン」の作成
- ユーザーへの聞き取り
- 2月からエネルギー調査を実施する予定
- 検討しているがまだそこまでの取組体制が整っていない
- メイン銀行に相談
- 検討中
- 今後、内容を検討していく
- 取り組みたいと思っているが 何から始めるべきか、やり方は？の段階 時間が無い

## 自由記載

- まずは民間中小の方を見てくれる政党を応援したいです。
- 零細企業には取りくむ余裕がないので指導や資金援助が必要と思います。
- 人財不足、輸送費コストの増加などが続いていくと今後の会社運営の継続に不安もあり



## 当面の行事日程について（5～7月）

※ 4月11日時点予定分（各行事の正式案内は別途お送りいたします）

### 〈正副会長会議及び理事会（決算審議）〉

日 時 5月8日（木）  
場 所 ANAクラウンプラザホテル札幌  
第1回正副会長会議 12：00～ 「桂(23階)」  
第1回理事会 13：30～15：00 「白楊(24階)」

### 〈札幌支部役員会（決算審議）〉

日 時 5月8日（木） 15：00～（理事会終了後）  
場 所 ANAクラウンプラザホテル札幌「柏(22階)」

### 〈電機電子部会情報交換会〉

日 時 5月13日（火） 18：00～  
場 所 ホテルモンテレーデルホフ

### 〈機械製缶部会総会・懇親会〉

日 時 5月14日（水） 17：00～19：30  
場 所 ホテルモンテレーデルホフ

### 〈表面処理部会総会・懇親会〉

日 時 5月15日（木） 18：00～20：30  
場 所 京王プラザホテル札幌

### 〈サッシ部会総会・懇親会〉

日 時 5月22日（木） 18：00～20：30  
場 所 札幌東急ストリームホテル

### 〈鉄骨部会役員会・総会・懇親会〉

日 時 5月23日（金） 16：00～  
場 所 ホテルモンテレーデルホフ

### 〈検査部会総会・懇親会〉

日 時 5月23日（金） 17：00～20：00  
場 所 ANAクラウンプラザホテル札幌

### 〈札幌支部総会〉

日 時 5月27日（火） 14：30～15：00  
場 所 ホテルモントレエーデルホフ

### 〈定 時 総 会〉

日 時 5月27日（火） 15：30～20：00  
場 所 ホテルモントレエーデルホフ  
正副会長会議 15：00～15：30「ドナウ・リンツ（13階）」  
総 会 15：30～16：30「ベルヴェデーレ（13階）」  
講 演 会 16：40～17：50「ルセルナホール（12階）」  
交流懇親会 18：00～20：00「ベルヴェデーレ（13階）」

### 〈懇親ゴルフ交流会〉

日 時 5月28日（水） 7：30～  
場 所 札幌エルムカントリークラブ(西コース)

### 〈札幌支部・機械製缶部会合同ゴルフ例会〉

日 時 7月1日（火） 8：19～  
場 所 札幌エルムカントリークラブ(西コース)

### 〈検査部会ゴルフ会〉

日 時 7月11日（金） 8：12～  
場 所 札幌エルムカントリークラブ(西コース)

※ 各種の状況によりましては、開催規模の縮小や書面開催への変更、中止となる場合がありますので、ご承知おき下さい。

# 部会だより

## 検査部会

### 技術講習会

#### 「第5回技術講習会（再認証）」

開催日 2025年1月21日（火）～24日（金）

場 所 北海道溶接技術センター

| 科 目     | 実施日       | 受講者 |
|---------|-----------|-----|
| 磁 気(MT) | 中止(人数揃わず) | —   |
| 浸 透(PT) | 1月23日～24日 | 17名 |
| 超音波(UT) | 1月21日～24日 | 5名  |



#### 「第6回技術講習会（学科）」

開催日 2025年2月4日（火）～13日（木）

場 所 北海道溶接技術センター

| 科 目     | 実施日       | 受講者 |
|---------|-----------|-----|
| 磁 気(MT) | 2月4日～5日   | 4名  |
| 浸 透(PT) | 2月6日～7日   | 6名  |
| 超音波(UT) | 2月12日～13日 | 14名 |



## 役員会

日 時 2025年2月28日（金）13:00～14:00

場 所 ホテルモントレエーデルホフ札幌  
12階「メンデル」

出席者 8名

### 内 容

- ・第1号議案：2024年度事業報告・決算見込み
- ・第2号議案：2025年度事業計画(案)  
・収支予算(案)
- ・第3号議案：2025年度 総会について
- ・報告事項：会員動向など



### 第45回 検査技術研究会 （検査部会/鉄骨部会 共催事業）

日 時 2025年2月28日（金）15:00～18:00  
(18:00～懇親会)

場 所 ホテルモントレエーデルホフ札幌  
12階「ルセルナ」

参加者 50名

### 内 容

#### 【基調講演】

- 「骨組膜構造の鉄骨製作について」  
講師：道央建鉄(株) 福川 直樹 氏
- 「独自検査技術による保全ニーズ対応事例」  
講師：日本製鋼所M&E(株) 鈴木 佑基 氏

### 【最新機器の紹介】

- 「エックス線発生装置及びデジタル画像化装置の紹介」

講師：トーレック(株)

- 「屋内点検におけるドローン活用の最前線」

講師：ブルーイノベーション(株)

### 【補助金の紹介】

- 「便利な各種補助金の活用方法」

講師：(株)北海道共創パートナーズ



▲ 会場の様子



▲ 最新機器を実際に体験



▲ 飛行中の「検査用ドローン」



▲ 交流会の様子

## 鉄 骨 部 会

### 全構協統一書式 見積条件書特記事項 説明会開催

日 時 2025年2月13日(木) 16:00～17:35

場 所 ホテルモントレエーデルホフ札幌

13階ベルヴェデーレ

参加者 103名(会場69名、オンライン34名)

講 師 (一社)全国鉄構工業協会

専務理事 小貫 武 氏

共 催 北海道FAB青年部会

内 容

- ①ファブを守る鉄骨製作図の契約と法令(契約編)
- ②ファブを守る鉄骨製作図の契約と法令(法令編)
- ③質疑応答

昨年から全構協でWGを設置し、鉄骨製作図面承認の遅延問題に対応するべく取り組んでおり、第1弾として行政や業界団体へ要望活動を行いました。

今回はその第2弾として、ファブがゼネコンと対等な立場で交渉できるよう知っておくべき内容を整理した「ファブを守る鉄骨製作図の契約と法令(契約編・法令編)」についての説明会を、北海道FAB青年部会との共催により、オンライン併用のハイブリッド形式にて開催しました。

今年の4月からは、全構協の全構成員が全構協統一書式「見積条件書特記事項」を使用して、弱

い立場のファブがゼネコンに対抗するため一致団結して動くよう周知、依頼したものです。

また法令編として、建設業法、また下請法の禁止事項について配付資料に沿って詳細に説明されました。

説明会には、オンライン参加を含め103名もの多くの方にご参加いただき、また説明会終了後の懇親会にも58名の方にご参加いただき盛況に終了しました。



▲ 説明会風景



▲ 講師(全構協 小貫専務理事)

## 第7回役員会

日 時 2025年2月13日(木) 12:00～15:00

場 所 ホテルモントレエーデルホフ札幌

12階「ワグナー」

出席者 竹原部会長 他役員11名、事務局2名

### 1. 審議事項

①図面説明会について

②2025年度「めっきボルト講習会」開催決定について(7月26日(土))

③2024年度収支決算見込みについて

④2024年度鉄骨生産量等実態調査実施について

## 2. 報告事項

(1) 鉄骨部会関係報告

①第45回検査技術研究会(2/28(金)開催)について

②「Z.R.C工法講習会」開催報告

(2) 機械工業会関係報告

①求人情報ガイドブックについて

(3) 全構協関係報告

■1月17日開催「第8回理事会」について  
【報告事項】

(1) 2025年度賀詞交歓会等実施について

(2) 委員会等活動状況報告

①運営委員会、②技術委員会、③図面問題対応検討WG、④一次加工品質管理WG、

⑤外部団体との意見交換会対応WG、

⑥人づくり研修(研修実施概況)

(3) その他(①管理責任者等の届出関連、

②教育センターへの要望関連)

(4) 構成員登録状況

(5) 着工面積と推計鉄骨需要量

(6) 2024年度主要会議日程

(7) 支部報告

## 3. 各支部状況報告

・道内7支部の支部長から、1～2月の概況について報告されました。

## 4. 青年部会活動報告

## 第8回役員会

日 時 2025年3月13日(木) 12:00～15:00

場 所 ホテルモントレエーデルホフ札幌

12階「ワグナー」

出席者 竹原部会長 他10名、事務局2名

### 1. 審議事項

①JSCA北海道支部との鉄骨協働WG プレストセッション実施について

②「2024年版 鉄骨工事における製作要領書ポイント集」(長崎県作成) 購入取りまとめについて

③2025年度役員会開催日程検討について



- ④2024年度収支決算（見込み）について
- ⑤2025年度事業計画（案）及び収支予算（案）

について

## 2. 報告事項

### (1) 鉄骨部会関係報告

- ①「図面説明会」開催報告
- ②「第45回検査技術研究会」開催報告
- ③「2025年度 鉄骨製作工場 品質管理責任者講習」開催日程決定について
- ④2025年度学科講習会等スケジュールについて

### (2) 機械工業会関係報告

#### ①ものづくり企業の魅力PR動画について

### (3) 全構協関係報告

#### ■ 2月18日開催 「第9回理事会」について

##### 【審議事項】

- (1) 2025年度事業計画（案）承認の件
- (2) 鉄骨技術研究開発助成制度の見直し及び継続の件

##### 【報告事項】

- (1) 2025年度予算編成方針・前提について
- (2) 委員会等活動状況報告
  - ①運営委員会
  - ②一次加工品質管理WG
  - ③外部団体との意見交換会対応WG
  - ④鉄骨技術研究開発助成制度選考委員会
- (3) AW検定協会との意見交換会について
- (4) 特定技能外国人材の受入事業を実施する民間団体について
- (5) 青年部（全青会）との連携活動について
- (6) 賛助会員の新規入会基準について
- (7) 2025年度主要会議予定について
- (8) 構成員登録状況
- (9) 着工面積と推計鉄骨需要量
- (10) 2024年度主要会議日程
- (11) 支部報告

## 3. 各支部状況報告

- ・道内7支部の支部長から、2～3月の概況について報告されました。

## 4. 青年部会活動報告

## 自動車関連部会

### 講演会・年末交流会

日 時 2025年2月6日（木）

場 所 ホテルモントレエーデルホフ札幌

参加者 35名

講 師 インターステラテクノロジズ(株)

事業開発部 コミュニケーションズ

&ブランドグループ

Specialist 中神 美佳 氏

演 題 「民間によるロケット開発の現在地と将来像」



▲ セミナーの様子



▲ 中神 美佳 氏(講師)



▲ 諸貴部会長のご挨拶



▲ 交流会の様子



## 第2回役員会

日 時 2025年3月7日（金）

場 所 ハイブリット開催

※部会長/副部会長/事務局のみ会場出席。

会場：ホテルモントレエーデルホフ札幌  
12階「リルケ」

出席者 14名

内 容

第1号議案：2024年度 事業収支見込み

第2号議案：2025年度 事業計画(案)

※ 以下の3行事は開催日「確定」済みです。

- ・【第1回役員会】2025年9月5日（金）  
モントレ
- ・【ゴルフ交流会】2025年9月6日（土）  
恵庭C C
- ・【講演会・年末交流会】2025年12月5日（金）  
モントレ

第3号議案：2025年度 収支予算(案)

第4号議案：自動車関連部会の通常総会について

開催日時：2025年4月23日(水)17:00～18:00

開催場所：ホテルモントレエーデルホフ札幌

報告事項：会員動向および事業実施状況について



▲ ハイブリット開催の様子

## 機械製作部会

### 第1回役員会

日 時 2025年4月4日（金）12:00～14:00

場 所 J Rタワーホテル日航札幌35階

スカイレストラン「丹頂」

出席者 鈴木部会長他6名、事務局1名

内 容

鈴木部会長の挨拶の後、2024年度事業・決算見込み報告を行い、審議事項である2025年度各種事業計画の検討に入りました。

#### 1. 2024年度事業報告及び収支決算見込みについて

2024年度開催事業は札幌支部との合同企画のゴルフ会のほか、道外視察会を開催。このほか2年ぶりに3部会（電機電子、表面処理）合同講演会を行い、決算見込みも起案通り承認となりました。

#### 2. 2025年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

新年度計画では道内・道外視察会を含めた予定を組み、総会に諮ることとなりました。昨年の総会で年会費改定（15,000円→25,000円）が承認されましたが、今年以降も引き続き各種経費削減を図り、2034年に迎える50周年に向けて準備を進めることとしました。

#### 3. その他（2025年度定時総会について等）

(1) 定時総会は懇親会も含めて5月14日に開催することとしました。

## 電機電子部会

### 電機電子部会道外視察会(関西地区)

開催日 2025年3月12日(水)～14日(金)

参加者 会員7社7名、事務局1名

視察場所 兵庫県神戸市、大阪府三島郡島本町

視察先 5件

#### ① 川崎重工業株式会社 神戸工場

対応者：エネルギーシステム統括部中川部長、  
営業本部(東京) 本田課長代理ほか  
帯同社：北海道支社木村支社長、音道課長代理

神戸空港到着後すぐに水素荷揚げ基地の貯蔵タンク、荷揚げ用クレーンなどの設備を視察。基地には他視察団体も多く見られ、全国の自治体、民間団体の視察希望が多数寄せられています。このほかガスタービン製造現場、完成品の検査現場などを見学し、会議室で水素貯蔵設備、水素の原料となる褐炭採掘場オーストラリアからの運搬行程など製造から運搬、貯蔵、活用のほかガスエンジン製品について説明を受け、質疑応答などを行いました。



▲ 同社水素基地施設前で撮影(この場所以外の撮影は禁止)

#### ② カワサキワールド(神戸海洋博物館内施設)

対応者：北海道支社木村支社長、音道課長代理

川崎重工神戸工場から同社マイクロバスで移動し、カワサキワールドを見学しましたこの施設では、同社がこれまでに携わった国内外の陸

海空事業の功績、歴史などについて学びました。陸のゾーンでは0系新幹線実物、空のゾーンでは大型ヘリコプター実物が展示されており、運転席に入ることでもできたほか、モーターサイクルギャラリーでは同社人気モデル二輪車実車も展示もありました。



▲ カワサキワールド見学の様子

### ③ 三菱電機株式会社電力システム製作所

(三菱ジェネレーター株式会社共同説明)

対応者：福田営業部長、山口営業部次長ほか

1921年(大正10年)神戸製作所として操業開始。三菱電機発祥の地で、創業100年以上の歴史ある工場。エネルギーインフラ構築のための先進技術、電気を生み出すタービン発電機や、生み出された電気をコントロールするために必要なシステムを開発、製造。

【現在、同社の発電機分野事業は三菱重工業(株)と統合し、2024年4月から新会社「三菱ジェネレーター(株)」で行っている。】今回は電力システム製作所概況説明のあと、発電機工場、制御盤工場を視察。大型ガスタービン製造現場は迫力満点で、スケール感溢れる工場内の視察はこれまで視察してきた同社各工場の中でもトップクラスの迫力を感じることができました。



▲ 三菱電機株式会社電力製作所前で記念撮影  
(工場内撮影禁止)

### ④ サントリー山崎蒸留所

名水の地・山崎に建設された日本初のモルトウイスキー蒸溜所。今回は生産工程見学ができない無料コースでしたが、山崎ウイスキー館内のウイスキーにまつわる様々な展示見学のほか、試飲コーナーでは、『山崎18年』3,400円、『山崎25年』22,000円(すべて30ml)などが準備されており、最近目にすることも少なくなった山崎を味わうことができました。



▲ サントリー山崎蒸留所見学

### ⑤ 阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター

1995年の震災経験・教訓を後世に伝え、災害への備えを学ぶミュージアム。震災発生から30年が経過したなかで、震災発生の瞬間を再現した映像上映や、被災者から提供された震災関連資料を見学。当時被災された方がボランティアとして展示資料、当時の状況など詳細な説明を聞くことが出来ました。





▲ ミュージアムの内観と外観(建物上部部分には南海トラフ地震発生時に高知県海岸で予測されている津波の高さ34mが表示)

## 第2回役員会

**日時** 2025年3月19日(水) 15:00～15:40  
**場所** ANAクラウンプラザホテル 25階「手稲」  
**出席者** 向井部会長他役員2名、事務局1名  
**内容**

向井部会長の挨拶の後、2024年度事業・決算見込み報告を行い、審議事項である2025年度各種事業計画の検討に入りました。

### 1. 2024年度事業報告及び収支決算見込みについて

2024年度事業は情報交換会3回(札幌市、道庁・工業試験場、道銀・道経連)、道外視察会、3部会合同年末講演会・交流会、役員会2回を実施。収支見込案は起案通り承認となりました。

### 2. 2025年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

新年度は情報交換会3回、道外視察会ほかを計画。視察先は未訪問地区の東北、四国などから選定。具体的な訪問先、時期は6月の役員会で再検討することとしました。

### 3. その他(2025年度定時総会について等)

(1) 定時総会(および懇親会)は、5月13日(火)に開催することとしました。



## 北海道経済連合会、北海道銀行との情報交換会

**日時** 2025年3月19日(水)  
 情報交換会  
 ①北海道銀行(以下、道銀)  
 16:00～16:50  
 ②北海道経済連合会(以下、道経連)  
 17:00～18:00  
**場所** ANAクラウンプラザホテル  
 情報交換会 22階「鈴蘭」、懇親会23階「楡」  
**出席者** 道経連5名、会員企業8社8名、事務局1名

### 内容

- ① 電機電子部会 向井部会長、道銀 岡久上席調査役双方から挨拶の後、道銀は石田調査役から「NISAと相続のおはなし」として最近の金利情勢からNISA制度拡充の背景、資産保全の重要性などについて説明。相続についても企業経営者として準備しておきたい税金対策、「争族」防止策などを説明がありました。
- ② 今回は宇宙関連事業に的を絞った形で開催。期待される市場規模、北海道スペースポットの概要、宇宙ビジネスモデルの紹介などがあり、電子データを活用するビジネス活用事例に強く関心を示す参加企業もありました。

### 懇親会

道経連から4名の方に懇親会にご参加いただき、親睦を深めました。



▲ 北海道銀行との情報交換会  
(右は冒頭挨拶の道銀 岡久上席調査役)



## サッシ部会

### 忘 年 会

日 時 2024年12月19日 (木) 18:00～20:30

場 所 札幌エクセルホテル東急 1階「ラール」

出席者 出席10社11名、事務局1名

#### 次 第

(1) 挨拶 島貫部会長 ((株)リベラル)

(2) 締めの挨拶 渡部副部会長

(旭建サッシ工業(株))

・島貫部会長の乾杯挨拶で宴会開始。会の中では2025年の部会行事予定などが話題に上がり、最後は渡部副部会長から「今年一年、お疲れさまでした」と一本締めで閉宴しました。



▲ サッシ部会 島貫部会長挨拶



▲ 渡部副部会長からの締めの挨拶

### 新 年 会

日 時 2025年1月31日 (金) 18:00～20:30

場 所 肉懐石にしやま

出席者 出席8社9名、事務局1名



## 次 第

(1) 挨拶 島貫部会長 ((株)リベラル)

(2) 締め挨拶 渡部副部会長

(旭建サッシ工業(株))

- ・島貫部会長から乾杯挨拶の後、(株)丸佐サッシ製作所 難波社長から昨年末に亡くなった同社佐久間会長への会葬御礼がありました。会の中では、新年度の総会日程の打合せをしたほか、新年度行事の話題があがり、最後は渡部副部会長の中締め挨拶で閉宴しました。



▲ サッシ部会 島貫部会長乾杯挨拶



▲ 渡部副部会長から中締め挨拶

## 役 員 会

日 時 2025年3月27日(木) 18:00~21:00

場 所 一乃喜 (札幌市中央区)

参加者 島貫部会長ほか役員2名、事務局1名

議 題 2025年度部会総会に向け次の議題について審議しました。

(1) 2024年度事業報告および収支決算(見込)について

視察会以外の行事は予定通り開催。会員の予定調整が不調に終わった視察会は新年度開催することとしました。

(2) 2025年度事業計画(案)および収支予算(案)について

視察会は7~8月上旬で実施予定とし、5月の総会で承認が得られれば、すぐに募集開始。視察先は函館地区とし、サッシ業界に限らず選定することになりました。



▲ 役員会の様子

## 表面処理部会

### 新 年 会

日 時 2025年1月24日(金) 18:00~20:00

場 所 「北の味 北海しゃぶしゃぶ すすきの店」

参加者 11名



### 道外視察会(沖縄県)

日 程 2025年3月12日(水)~14日(金)

## 視察先

1. 『日本トランスオーシャン航空(株)  
機体整備工場』(沖縄県那覇市鏡水344)
2. 『拓南製作所(株)』  
(沖縄県中頭郡中城村伊舎堂354)
3. 『米軍 嘉手納基地(みちの駅かでな)』  
(沖縄県中頭郡嘉手納町屋良1026)
4. 『首里城(復興工事現場)』  
(沖縄県那覇市首里金城町1-2)

参加者 8名

### 【視察先概要】

#### 1. 日本トランスオーシャン航空(株) (機体整備工場)

- ・ 沖縄県に本社を置く J A L 系の航空会社で、東京・大阪・石垣島など国内 16 路線に就航。保有機体は 14 機(全てボーイング737)で、1日76便が運航しています。

当社整備工場は3機が同時に整備出来る大型格納庫で、当社機体のほか J A L・ジェットスター・海外エアライン(大韓航空など14社)・海上保安庁の整備も受託しています。

- ・ 今回は重点整備中(2年ごと)の機体を見学しました。エンジン内部や両翼の燃料タンク、車輪、レーダー、コックピットなどの作業詳細を説明いただきました。

特に、エンジン内部の溶接部分や機体外部の防錆めっき処理には、参加者も実際に手に触れるなど高い関心を示していました。

・ 通常は一般公開していませんが、今回は特別に許可をいただき貴重な体験となりました。



▲ 会社概要の説明



▲ 整備中の機体



▲ 整備中のエンジン



▲ レーダー部分



▲ 後方車輪の整備



▲ コックピット



▲ 座席を外した客室内



▲ 機体の前で記念撮影

## 2. 拓南製作所(株) ※沖縄唯一のめっき工場

- ・当社は鉄鋼関連の拓南グループの1社で、敷地内には鉄構部門・防錆部門（めっき）・棒鋼線材部門の3つの工場があります。

沖縄県は塩害や高温多湿な為めっき処理の耐用年数は15年（通常は30年）と短く、鉄製品には過酷な環境にあります。そのため防錆部門（めっき）は沖縄で唯一の工場として多くの受注を誇っています。

- ・防錆部門の工場には縦11.0m×幅1.5m×高さ2.0mの溶融めっき槽が配列され、天井付近のオペレーター室で操作するクレーンで洗浄→めっき処理→仕上げが行われてい

ました。年間7,000tの処理数を誇りますが以前に比べて30%は減少しており、九州等の県外企業と競争するなかで沖縄県の高い電気料を如何に価格転嫁するか苦労しています。

- ・当社の外国人労働者はゼロで従業員はすべて県内で賄っており、人材確保に苦労している今回の参加者からは羨ましいとの発言が多数ありました。



▲ 工場の一部



▲ 会社概要の説明



▲ めっき工場のクレーンオペレーター



▲ めっき槽での作業



▲ 鐵構部門の工場内



▲ 本社正門前で記念撮影

### 3. 米軍 嘉手納基地（みちの駅かでな）

- ・沖縄県内に31ある米軍基地のなかで最大の空軍基地。沖縄市・嘉手納町・北谷町の1市2町にまたがり、東京ドーム420個分の面積を有しています。

敷地内には3,600mの滑走路を2本備えており、戦闘機・大型輸送機・軍用ヘリコプターが頻繁に離陸着しています。

- ・見学時にもステルス戦闘機（F22Aラプター）が爆音をたてて飛び立って行きましたが、その一方で地域住民で組成する「基地監視班」が騒音計を設置して常時監視する光景も見ら

れ、米軍基地と沖縄県民の複雑な関係性を垣間見るようになりました。



▲ 嘉手納基地の様子



▲ ステルス戦闘機の離陸風景



▲ 基地を抱える街の現実を伝えるブース



▲ 基地をバックに記念撮影

#### 4. 首里城（復興工事現場）

- ・2019年に正殿など7棟を焼失した首里城は正殿の復興工事が進み、今夏には工事用建屋（外側）が外されて来年（2026年）には完成する予定です。

今回はガイドを伴って復興工事現場を回り、1階（基礎工事）→2階（正殿装飾工事）→3階（瓦屋根工事）の様子を見学しました。

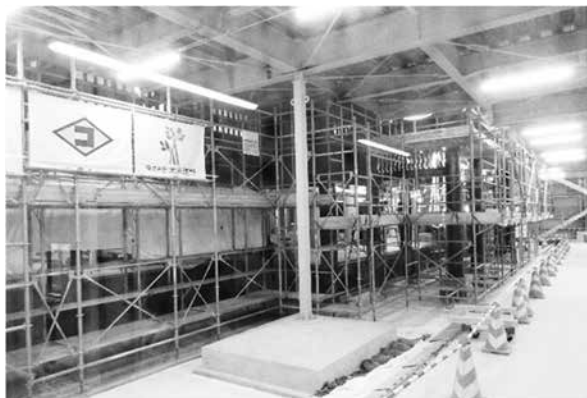
- ・正殿は来年完成しますが工事は継続し、世界文化遺産「首里城」が完全復興するにはあと7～8年かかる見込みです。



▲ 工事用建屋（外側）に描かれた正殿



▲ ガイドによる説明



▲ 1階部分（基礎工事）



▲ 3階（瓦屋根工事）



▲ 宮大工の作業風景



▲ 「守礼門」の前で記念撮影



# 支部だより

## 札幌支部

### 新年交流会

日時 2025年1月23日（木）18：00～20：00

場所 ANAクラウンプラザホテル札幌  
地下1階 あさひの間

出席者 藤枝支部長ほか70名

藤枝支部長の開会挨拶のあとは、産鋼スチール上遠野相談役からの来賓挨拶、乾杯挨拶は初めて参加した星野副支部長【旭イノベックス（株）社長】で宴会スタート。途中で新入会員企業2社（株）小野寺製作所 小野寺社長（正会員）、（株）鈴木商会 駒谷社長（賛助会員）のほか、（株）あかりみらい 越智社長からLED化の情報提供を行いました。恒例の福引で盛り上がった後は、阿部副支部長からの中締め挨拶でお開きとなりました。



▲ 星野副支部長から乾杯挨拶



▲ 懇親会の様子



▲ 藤枝支部長挨拶



▲ 新入会員企業（株）小野寺製作所 小野寺社長



▲ 上遠野相談役来賓挨拶



▲ 同左（株）鈴木商会 駒谷社長





▲ (株)あかりみらい 越智社長からの情報提供



▲ 阿部副支部長 中締め挨拶

## 釧路支部

### 第15回 釧路地場工業展示会 「メイド・イン・くしろ」の開催

日 時 2025年2月1日(土)、2日(日)

場 所 釧路市観光国際交流センター

参加企業・団体 19の企業・団体・学校

主 催 釧路地域工業振興協会

協 賛 釧路市

(一社)北海道機械工業会釧路支部

入場者数 延べ約14,000人

釧路支部では釧路地域工業振興協会が主催する地場工業の技術と製品のPR、人材育成や販路拡大等を目的とした展示会「メイド・イン・くしろ」に協賛しました。くしろ冬まつりと同時期に開催される地元ではお馴染みの行事で、コロナ禍を除き、通常2年に一度開催されています。

広く一般市民を対象に、ものづくりの楽しさや面白さ、地元企業の技術力を知ってもらう機会として、VR溶接体験、ロボットを活用した先端技術の展示や実演、木工やアルミの組立体験、スタンプラリーによる子ども向けお楽しみ抽選会など盛りだくさんの内容となりました。くしろ冬まつりの効果もあり家族連れの姿も多く、特に未来を担う子どもたちや学生にとって“直にものづくりに触れる”ことのできる貴重な機会になりました。



▲ 開会式の様子



▲ (株)残間金属工業による鉄骨建方実演



▲ (株)釧路製作所 展示ブース



▲ (株)昭和冷凍プラント 展示ブース



▲ (株)ニッコー 展示ブース



▲ 釧路造船部会(代表 釧路重工業(株))展示ブース



▲ 釧路鉄工協会青年部 体験ブース



▲ 釧路鉄工協会

## 旭川支部

### 生成A I セミナー、新年交礼会開催

開催日 2025年2月4日(火) 16:00~20:00

会場 アートホテル旭川(旭川市7条通6丁目)

主催 旭川機械金属工業振興会、(一社)北海道機械工業会旭川支部、旭川工業高等専門学校産業技術振興会

参加者 セミナー53名、新年交礼会25名

#### 内容

- ・講師:株式会社富貴堂ユーザック 妹尾 飛翔氏
- ・演題:「中小企業×ChatGPT 未来を創る業務効率化」

中小企業が直面する深刻な人材不足を解消するために、実際にA Iを活用したセミナーを開催。講師は生成A Iの活用に取り組み、独学でその技術を学ぶ妹尾氏を招き、すぐに実践で役立つ事例と実演にテーマを絞った内容としました。講師が普段使用しているChatGPTを始めとする最新A Iツールを活用しながら、効率的な業務効率化手法など詳しく学ぶ機会となりました。

## 苦小牧支部



▲ 旭川機械金属工業振興会 佐々木会長挨拶



▲ 講師 妹尾 飛翔 氏



▲ セミナーの様子

旭川機械金属工業振興会  
(一社)北海道機械工業会旭川支部

新年交礼会



▲ 交礼会、旭川支部 関山支部長の挨拶

令和6年度の苫小牧市技能功労者表彰式が2024年11月20日に苫小牧市内ホテルにて行われ、当会会員企業からは(株)松本鐵工所の佐藤文雄さんが受賞されました。

この技能功労者表彰は、苫小牧市における技能者の社会的地位及び技能水準の向上を図るため、技能を通じて労働者の福祉の増進又は産業の発展に功労のあった者を表彰するものです。

### 受賞者紹介（敬称略）

氏 名 佐藤 文雄 氏

（(株)松本鐵工所 苫小牧事業所）

職 種 金属工作機械工

概 要

昭和58年の入社以来、各種産業機械の精密加工部品の製造等に携わり、生産性・品質の向上、及び設備機械の安定的な稼働に大きく貢献されています。国内では希少な大型旋盤を用いる鉄道S L車動輪加工における責任者を務め、全国から高い評価を得ています。また、多種多様な状況に対応可能な知識・技能を有し、自動車関連部品の金型メンテナンス作業にも従事するなど多能工として活躍しているほか、後進の指導・育成に尽力し、インターンシップにおいてはものづくり産業の魅力を広く発信しています。



表彰を受ける(株)松本鐵工所の佐藤文雄さん(中央)

## 会 員 加 入 状 況

### <新加入企業紹介>

|                                        |  |                       |  |                               |  |                                                                    |  |                                                                                     |
|----------------------------------------|--|-----------------------|--|-------------------------------|--|--------------------------------------------------------------------|--|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 社 名                                  |  |                       |  | 株式会社小野寺製作所                    |  | PR                                                                 |  |  |
| 代 表 者 名                                |  |                       |  | 小野寺 孝勝                        |  | 完全溶け込み溶接が得意です。プラント製品も各種発電所関連、バイオマス関連を含め多数の納入実績がありますので、お気軽にお問合せ下さい。 |  |                                                                                     |
| 所 在 地                                  |  |                       |  | 〒060-0051<br>札幌市中央区南1条東1丁目2-1 |  |                                                                    |  |                                                                                     |
| TEL                                    |  | 011-211-6403          |  | FAX                           |  | 011-211-6413                                                       |  |                                                                                     |
| URL                                    |  | http://onodera-gp.com |  |                               |  |                                                                    |  |                                                                                     |
| 資本金                                    |  | 1,000 万円              |  | 従業員数                          |  | 18 名                                                               |  |                                                                                     |
| [業 種] 金属製品製造業                          |  |                       |  |                               |  |                                                                    |  |                                                                                     |
| [主生産品] 各種プラント製品製作 製缶品全般 鉄骨製作 橋梁ブラケット製作 |  |                       |  |                               |  |                                                                    |  |                                                                                     |
| [許認可等] 北海道知事許可（般-4）石 24493 号           |  |                       |  |                               |  |                                                                    |  |                                                                                     |

### <新加入企業（賛助会員）紹介>

|                                                                                                                                                                                                                                                      |  |                                  |  |                                            |  |                                                                                                               |  |                                                                                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|----------------------------------|--|--------------------------------------------|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 社 名                                                                                                                                                                                                                                                |  |                                  |  | 株式会社鈴木商会                                   |  | PR                                                                                                            |  |  |
| 代 表 者 名                                                                                                                                                                                                                                              |  |                                  |  | 駒谷 僚                                       |  | 鈴木商会は創業73年の資源リサイクル会社です。<br>「資源リサイクル」「家電リサイクル」「自動車リサイクル」「アルミ精錬」「漁網リサイクル」の5つの事業を核として、北海道における資源循環型社会の実現を推進しています。 |  |                                                                                       |
| 所 在 地                                                                                                                                                                                                                                                |  |                                  |  | 〒060-0004<br>札幌市中央区北4条西4丁目1番地<br>伊藤・加藤ビル6F |  | アルミ精錬事業では、道内最大規模を誇るアルミリサイクル工場を苫小牧に構えており、集められた原料は、選別など前処理を経て炉で溶解した後、取引先が要求する成分規格に応じた「アルミインゴット」を製造しております。       |  |                                                                                       |
| TEL                                                                                                                                                                                                                                                  |  | 011-280-1281                     |  | FAX                                        |  | 011-280-8900                                                                                                  |  |                                                                                       |
| URL                                                                                                                                                                                                                                                  |  | https://www.suzuki-shokai.co.jp/ |  |                                            |  |                                                                                                               |  |                                                                                       |
| 資本金                                                                                                                                                                                                                                                  |  | 9,800 万円                         |  | 従業員数                                       |  | 528 名                                                                                                         |  |                                                                                       |
| <p>〔業 種〕 資源リサイクル業</p> <p>〔主生産品〕 アルミニウム合金地金、再生ナイロン樹脂、金属スクラップ加工製品</p> <p>〔許認可等〕 金属くず回収業許可、古物商許可、建設業許可、産業廃棄物収集運搬業許可、産業廃棄物処分業許可、特別管理産業廃棄物収集運搬業許可、一般廃棄物収集運搬業許可、一般廃棄物処分業許可、第一種フロン類回収業者登録、廃棄物再生事業者登録、引取業者登録、フロン類回収業者登録、解体業許可、破碎業許可、使用済小型電子機器等の再資源化事業者認定</p> |  |                                  |  |                                            |  |                                                                                                               |  |                                                                                       |

|                          |                            |                                         |              |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------|----------------------------|-----------------------------------------|--------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 社 名                    |                            | 株式会社ユシロ 北海道営業所                          |              | PR |  <p>弊社は金属加工油剤・ビルメンテナンス製品のメーカーです。お陰様で昨年、起業80周年を迎えました。<br/>製造業の大きな変革に対応できるよう「カーボンニュートラル」「職場環境の環境向上」といった市場ニーズに着目し「水溶性<b>MQL</b>（セミドライ）切削油剤」「ビタミン成分配合の光触媒」「自己修復材」といった新製品の開発販売を推進しております。<br/>御興味が御座いましたら是非とも御連絡ください。</p> |
| 代 表 者 名                  |                            | 添川 一生                                   |              |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 所 在 地                    |                            | 〒003-0026<br>札幌市白石区本通19丁目南2-7<br>食糧ビル3F |              |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| TEL                      | 011-887-0390               | FAX                                     | 011-868-1770 |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| URL                      | https://www.yushiro.co.jp/ |                                         |              |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 資本金                      | 424,938 万円                 | 従業員数                                    | 2名（全体409名）   |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| [業 種] 石油・石炭製品            |                            |                                         |              |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| [主生産品] 金属加工油剤・ビルメンテナンス製品 |                            |                                         |              |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| [許認可等] ISO9001、ISO14001  |                            |                                         |              |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

## 2025年4月1日現在の会員加入状況

| 会 員 加 入 状 況     |          |     |           |     |
|-----------------|----------|-----|-----------|-----|
| 従 業 員 規 模 別 会 員 |          |     | 支 部 会 員 数 |     |
| 正<br>会<br>員     | 1～9人     | 48  | 札 幌       | 128 |
|                 | 10～19人   | 79  | 小 樽       | 19  |
|                 | 20～29人   | 52  | 函 館       | 14  |
|                 | 30～49人   | 54  | 室 蘭       | 32  |
|                 | 50～99人   | 55  | 苫 小 牧     | 30  |
|                 | 100～199人 | 21  | 空 知       | 22  |
|                 | 200～299人 | 5   | 旭 川       | 31  |
|                 | 300～499人 | 3   | 北 見       | 12  |
|                 | 500～999人 | 6   | 帯 広       | 18  |
|                 | 1000人以上  | 5   | 釧 路       | 22  |
|                 | 会 員 合 計  | 328 |           |     |
| 賛 助 会 員         |          | 33  |           |     |
| 合 計             |          | 361 | 合 計       | 328 |

# 技術情報コーナー

## 道総研 工業試験場 試験研究コーナー

### 令和7年度における道総研工業試験場の研究開発の概要について

当場は、本道の地域経済をけん引するものづくり産業の振興および成長力を持った力強い食関連産業の振興に貢献するため、ものづくり基盤技術を強化するための研究開発、デジタル技術を活用した生産性向上、省力化・省人化に関する研究開発、食品加工を支える生産機械、システムの開発に関する研究課題を設定し、道総研全体の総合力の発揮、産業界や大学など外部機関との密接な連携を図りながら、研究開発・技術支援の取り組みを進めています。令和7年度は、39件（新規16、継続23）の研究課題を実施しています。

これらの中から、「収穫適期の判断支援技術の開発」、「摩擦熱点接合によるアルミニウム鋳物と鉄鋼材料の接合技術の開発」について概要を紹介します。

#### 課 題 名：収穫適期の判断支援技術の開発

研究期間：R7～8年度

**概 要：**道内の農業現場では、労働人口の減少によりアルバイトや技能実習生を雇うケースが増えており、技能や経験が求められる農作業では、効率低下や教育に要する多くの時間および手間が問題となっています。そこで、本研究では、農業初心者にとって収穫適期判断が難しいミニトマトの収穫作業における生産性向上を図るため、果実色から精度良く効率的に収穫適期のミニトマトを判断するための技術を開発します。



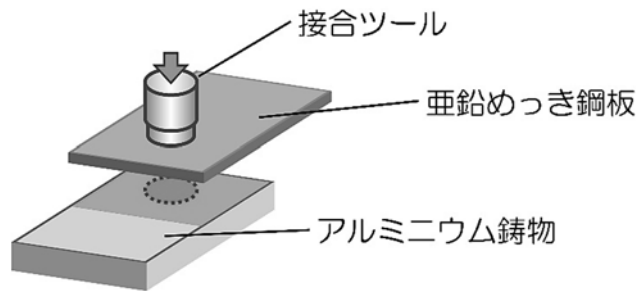
【収穫適期のミニトマトを判断し提示する技術】

#### 課 題 名：摩擦熱点接合によるアルミニウム鋳物と鉄鋼材料の接合技術の開発

研究期間：R7～8年度

**概 要：**近年、自動車業界ではアルミニウム鋳物による車体骨格の一体成型が実現し、これに伴い外板に使用される鋼板とアルミニウムの接合箇所の増加が見込まれます。また、道内企業からもこれらの材料の接合技術に関するニーズが寄せられています。しかし、アルミニウムと鉄は融点差などの要因により、一般的な溶接の適用が極めて困難です。そこで、本研究では、摩擦熱を利用して熔融亜鉛めっき鋼板のめっき層のみを選択的に熔融し、これを接合材としてアルミニウムと鋼板を冶金的に接合する手法を構築します。





【アルミニウム鋳物と鉄鋼材料を接合する技術】

## 令和7年度の主な研究課題

### 産業システム部（13課題）

| 研究区分 | 課 題 名                                                                                          | 実施年度      |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 戦略研究 | 人口減少社会における持続可能な道内産業の構築Ⅰ<br>ー就業者予測に基づく持続可能なコンブ漁業・森林関連産業の実現に向けたアプローチ<br>(持続可能な森林関連産業の実現に向けた技術開発) | R 7 ～ 1 1 |
| 重点研究 | 単木計測AI技術とCLAS-LiDAR計測技術による森林資源量推定システムの実用化                                                      | R 5 ～ 7   |
| 経常研究 | 電磁波センサを活用した生体の動的情報センシング技術の研究                                                                   | R 6 ～ 7   |
|      | 農産物の配置姿勢を考慮した把持箇所認識技術の開発                                                                       | R 6 ～ 7   |
|      | 地面への倣い制御による引き抜き除草装置の高速化                                                                        | R 6 ～ 7   |
|      | 狭小領域へのアプローチが可能な薄型柔軟指を有するソフトロボットハンドの開発                                                          | R 6 ～ 7   |
|      | シミュレーション技術を活用した不定形材料からの効率的な製品抽出アルゴリズム開発                                                        | R 6 ～ 7   |
|      | 屋外における安定した画像認識に向けたロバスト画像補正技術の開発                                                                | R 7 ～ 8   |
| 共同研究 | ブロッコリー選別加工システムの開発                                                                              | R 6 ～ 7   |
| 公募研究 | マルチワイヤ駆動によるSMAアクチュエータを用いた新原理音声デバイスの高機能化                                                        | R 5 ～ 7   |
|      | 生体骨模倣多孔質構造による衝撃吸収・耐久性に優れた3Dプリント可能な頭部保護部材の開発                                                    | R 6 ～ 8   |
| 奨励研究 | 汎用画像認識モデルを使用したAI学習用データ作成の効率化に関する研究                                                             | R 7       |
|      | 農業ロボット開発の効率化に向けたシミュレーション環境の構築                                                                  | R 7       |

### 材料技術部（13課題）

| 研究区分 | 課 題 名                          | 実施年度    |
|------|--------------------------------|---------|
| 経常研究 | 動的粘弾性の解析による再生プラスチックの長期時間変形予測   | R 5 ～ 7 |
|      | 再生可能資源を利用したプラスチック使用量低減化素材の開発   | R 6 ～ 8 |
|      | プロセスインフォマティクス技術による化学プロセスの設計    | R 6 ～ 7 |
|      | マルチセンシングとデータ解析による溶接割れ判別技術の基礎研究 | R 6 ～ 7 |
|      | 天然資源の循環利用を目指した珪質頁岩触媒の開発        | R 7 ～ 8 |
|      | 摩擦熱点接合によるアルミニウム鋳物と鉄鋼材料の接合技術の開発 | R 7 ～ 8 |

| 研究区分 | 課 題 名                                | 実施年度  |
|------|--------------------------------------|-------|
| 公募研究 | 持続可能な漁業を実現する高付加価値バイオ素材の有効性           | R 5～9 |
|      | 次世代の溶接人材向けステップアップ型技能支援手法の開発と効果の検証    | R 6～8 |
|      | 食品中に含まれるプロリン含有ジペプチドの呈味性及び反応機構に関する研究  | R 7～9 |
| 共同研究 | ナノインプリント法を用いた次世代半導体対応サブストレート用微細配線の創製 | R 6～8 |
|      | 非可食系バイオマスから乳酸生成に関する研究                | R 6～7 |
| 奨励研究 | お米からつくったプラスチックの複合化検討                 | R 7   |
|      | ーどさんこプラ実現に向けた一検討ー                    |       |
|      | 複雑構造体に適用可能な循環型電気めっき処理方法の開発           | R 7   |

#### ヒューマンテクノロジー部（7課題）

| 研究区分 | 課 題 名                             | 実施年度  |
|------|-----------------------------------|-------|
| 経常研究 | 個人の能力差に応じた許容作業強度の推定に関する研究         | R 6～7 |
|      | パッケージデザインへの生成AIおよびXR技術の適用に関する研究   | R 6～7 |
|      | 生体情報計測によるリアルタイム感情推定システムの開発        | R 7～8 |
|      | 収穫適期の判断支援技術の開発                    | R 7～8 |
| 公募研究 | ウェアラブル心電計を利用した乳牛のCaステータス予測システムの開発 | R 5～7 |
| 奨励研究 | 筋シナジー仮説に基づく持ち上げ動作のシミュレーションモデルの構築  | R 7   |
|      | 道内地方都市でのXR・CG等3Dコンテンツ開発技術の普及      | R 7   |

#### 新技術創生研究推進室（6課題）

| 研究区分 | 課 題 名                                     | 実施年度  |
|------|-------------------------------------------|-------|
| 重点研究 | 北海道農産物の物流を補強する低温酸化触媒の開発とそれを用いた鮮度保持システムの構築 | R 6～8 |
| 経常研究 | 高温高压水を用いた糖質バイオマス由来プラスチック原料の製造法開発          | R 6～7 |
| 公募研究 | 新規メカノケミカル法によるセルロース加水分解反応のメカニズムの解明         | R 6～8 |
|      | 剪断誘起メカノケミカル法を活用したバイオマス変換系における糖化合物変換挙動の解明  | R 7～9 |
|      | 剪断誘起メカノケミカル法を用いた新規バイオマス変換システムによる古紙からの乳酸製造 | R 7～9 |
| 奨励研究 | 活性化した反応助剤と高温高压水を用いたバイオマス変換技術の開発           | R 7   |

注）令和7年度の研究区分ごとの課題数は、次のとおりとなっております。

| 研 究 区 分       | 課 題 数 |
|---------------|-------|
| 戦略研究：戦略研究     | 1     |
| 重点研究：重点研究     | 2     |
| 経常研究：経常研究     | 17    |
| 共同研究：一般共同研究   | 3     |
| 公募研究：公募型研究    | 9     |
| 奨励研究：職員研究奨励事業 | 7     |
| 合 計           | 39    |

（うち1課題他研究本部主管）

# お知らせ

北海道を元気にするため中小企業の「ひとづくり」に貢献します。

## 中小企業大学校旭川校 5～7月開講 おすすめ研修のご案内

No.301

次世代を担うトップリーダーを育てる **おすすめ**

### 経営管理者養成コース（第13期）

【研修期間】（インターバル研修：4日間×6回）

- ① 2025年 7月1日（火）～ 7月 4日（金）
- ② 2025年 8月5日（火）～ 8月 8日（金）
- ③ 2025年 9月2日（火）～ 9月 5日（金）
- ④ 2025年10月7日（火）～10月10日（金）
- ⑤ 2025年11月4日（火）～11月 7日（金）
- ⑥ 2025年12月2日（火）～12月 5日（金）

【対象者】経営幹部、後継者、管理者

【受講料】298,000円（税込）

#### 【研修のねらい】

企業活動の中核を担う経営管理者として、質の高い経営を行うための総合的・創造的マネジメント能力の向上を図ることを目的として、実践につながる知識やマネジメント手法を体系的に習得します。

#### 【研修の流れ】

- 第1回：経営戦略と経営計画・論理的思考
- 第2回：組織と人事管理・リスクマネジメント
- 第3回：マーケティングの理解とプロセス・ゼミ①
- 第4回：財務会計・管理会計・自社の財務分析・ゼミ②
- 第5回：事例研究・ビジネスゲーム・ゼミ③④
- 第6回：ゼミ⑤・成果発表会

**“総合的マネジメント能力”をマスター**

No.6

### ファシリテーション基礎講座

円滑に合意形成を図る！

納得感のある意思決定の導き方

5月20日（火）～22日（木） 3日間

対象者 管理者、新任管理者

受講料 32,000円（税込）

#### カリキュラム概要

- ファシリテーションの基本的スキル（講義・演習）
- デザインの重要性 ● 模擬会議
- チーム運営にファシリテーションを活用する

#### 【研修のねらい】

組織の力を最大限に引き出し、合理的で納得感のある意思決定や問題解決に導くファシリテーションの意義と効果を理解した上で、演習を交えてファシリテーションスキルの基本を習得し、職場で実践するためのポイントを学びます。

#### ポイント

- ◆ 会議を円滑に進め、活発な議論を引き出すためのスキルが身につきます。
- ◆ 合理的で納得感のある意思決定や問題解決の進め方が理解できます。
- ◆ ファシリテーションスキルを職場で発揮していくための心構えやコツが学べます。

No.8

### 企業法務講座（札幌開催）

企業法務とリスクマネジメントの勘所

5月27日（火）～28日（水） 2日間

対象者 経営者、経営幹部、その候補者

受講料 22,000円（税込）

#### カリキュラム概要

- 中小企業を取り巻く法的環境と最近の動向
- 企業法務の基礎知識とリスクマネジメントの考え方
- リスクマネジメントの実践に向けて

#### 【研修のねらい】

中小企業が直面しやすい法的トラブルを未然に防ぐための企業法務の基礎知識や考え方を習得するとともに、多様で複雑なリスクに対応するための“リスクマネジメントのあり方”について学びます。

#### ポイント

- ◆ 経営者や経営幹部が知っておくべき企業法務の基礎知識を学びます。
- ◆ 企業経営に必要な「法的なものの見方や考え方」を身につけます。
- ◆ 多様で複雑なリスクに対応するリスクマネジメントのあり方を理解します。

## < 研修のご案内 6月 >（カリキュラム詳細はホームページをご覧ください）

|                              |                   |
|------------------------------|-------------------|
| No. 9 チームマネジメント強化講座          | 6月 3日（火）～6月 5日（木） |
| No.10 仕事を効率化する IT 活用講座（札幌開催） | 6月 4日（水）～6月 5日（木） |
| No.11 中堅管理者研修（6月開講）          | 6月10日（火）～6月12日（木） |
| No.12 人事・労務管理の基本と実務（札幌開催）    | 6月17日（火）～6月19日（木） |
| No.13 女性管理者養成講座（札幌開催）        | 6月24日（火）～6月26日（木） |

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部

中小企業大学校旭川校

中小 旭川

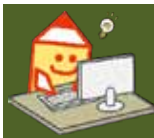
検索

お気軽にお問い合わせ下さい

電話 0166-65-1200

旭川市緑が丘東3条2丁目2-1





# 生産性向上人材育成支援センターが 企業の人材育成をサポートします！

令和7年春～夏  
開催コース



## 能力開発セミナー（ハートトレーニング）

ポリテクセンター北海道及び北海道能開大では、「ものづくり（設計・開発、加工・組立等）」に必要な知識や技術を身に付けていただくための能力開発セミナーを実施しています。

また、研修内容や日程等はご相談により、個別企業等のご要望に応じてオーダーメイドコースとしても実施できます。

### 旋盤加工技術（外径加工編）

会場：ポリテクセンター北海道

| コース番号 | 日 程                                                                                       | 訓 練 時 間  | 定員 | 受講料     |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----|---------|
| 1M109 | 5月22日（木）、23日（金）                                                                           | 2日間／12時間 | 8名 | 13,500円 |
| 概 要   | 汎用機械加工の生産性及び安全性の向上をめざし、段付き軸加工を通して、加工法の検討や段取り等、汎用旋盤作業に関する技能・技術を習得します。内径加工編の加工との組み合わせになります。 |          |    |         |

### 旋盤加工技術（内径加工編）

会場：ポリテクセンター北海道

| コース番号 | 日 程                                                                                        | 訓 練 時 間  | 定員 | 受講料     |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----|---------|
| 1M110 | 5月29日（木）、30日（金）                                                                            | 2日間／12時間 | 8名 | 13,500円 |
| 概 要   | 汎用機械加工の生産性及び安全性の向上をめざし、段付き穴加工を通して、加工方法の検討や段取り等、汎用旋盤作業に関する技能・技術を習得します。外径加工編の加工との組み合わせになります。 |          |    |         |

### PLC制御の応用技術（応用命令編）

会場：ポリテクセンター北海道

| コース番号 | 日 程                                                                                   | 訓 練 時 間  | 定員  | 受講料    |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----|--------|
| 1D306 | 5月29日（木）、30日（金）                                                                       | 2日間／12時間 | 10名 | 9,000円 |
| 概 要   | シーケンス（PLC）制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた数値処理実習を通して、PLCによる機器制御の応用技術を習得します。 |          |     |        |



## 生産性向上支援訓練



あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、70歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢層の従業員の育成や、DX（デジタルトランスフォーメーション）に対応するための人材育成など、中小企業等が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得するための訓練です。専門的知見を有する民間機関等に委託して実施しています。このほかにもコースをご用意していますので、詳細につきましてはホームページをご覧ください。

### DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入

会場：ポリテクセンター北海道

| コース番号 | 日 程                                                                                                | 訓 練 時 間 | 定員  | 受講料    | 申込期限    |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----|--------|---------|
| 札13   | 6月13日（金）                                                                                           | 1日間／6時間 | 20名 | 3,300円 | 5月8日（木） |
| 概 要   | DX導入プロセスを中心に、自社の課題抽出やケーススタディーでの要件定義演習を行います。「IT担当不在でもDXを導入したい」「有用なDXツールを知りたい」と感じている方、未経験の方にもおすすめです。 |         |     |        |         |

### 脅威情報とセキュリティ対策

会場：ポリテクセンター北海道

| コース番号 | 日 程                                                             | 訓 練 時 間 | 定員  | 受講料    | 申込期限     |
|-------|-----------------------------------------------------------------|---------|-----|--------|----------|
| 札16   | 6月30日（月）                                                        | 1日間／6時間 | 20名 | 2,200円 | 5月23日（金） |
| 概 要   | 社内の情報セキュリティを維持するために、セキュリティポリシーの必要性を理解し、セキュリティ対策に必要な知識と技能を習得します。 |         |     |        |          |

らしく、はたらく、  
ともに



北海道職業能力開発促進センター  
（愛称：ポリテクセンター北海道）

住所：札幌市西区二十四軒4条1丁目4番1号  
生産性向上支援訓練に関するお問い合わせ：011-640-8828

■能力開発セミナーに関するお問い合わせ  
訓練第二課：011-640-8823

■生産性向上支援訓練に関するお問い合わせ  
生産性センター業務課：011-640-8828

北海道職業能力開発大学校  
（愛称：ポリテクカレッジ北海道）

住所：小樽市銭函3丁目190番地  
電話：0134-62-3551



# 事務局日誌

2025年1月～3月分

(役員会・委員会・部会等)

| 役員会・委員会・部会等                    | 開催日       | 場 所             | 概 要                 |
|--------------------------------|-----------|-----------------|---------------------|
| 石狩湾新港機械金属工業<br>協同組合新年交礼会       | 1月9日      | 京王プラザ札幌         |                     |
| 日本鉄鋼連盟 北海道地区<br>鉄鋼業界新年賀詞交換会    | 1月10日     | 札幌グランドホテル       |                     |
| 札幌鉄工団地組合新年交礼会                  | 1月17日     | 札幌グランドホテル       |                     |
| 合同新年交流会<br>(機械工業会小樽支部等)        | 1月18日     | 小樽市             |                     |
| 検査部会                           | 1月21日～24日 | 溶接協会            | 第5回技術講習会            |
| 第4回正副会長会議                      | 1月21日     | ホテルモントレエーデルホフ   |                     |
| 札幌支部新年交流会                      | 1月23日     | ANAクラウンプラザホテル札幌 |                     |
| 表面処理部会新年会                      | 1月24日     | 北海しゃぶしゃぶ        |                     |
| サッシ部会新年交礼会                     | 1月31日     | 肉懷石いしやま         |                     |
| 令和5年度札幌高等技術専門<br>学院職業能力開発運営協議会 | 2月3日      | 札幌高等技術専門学院      |                     |
| 検査部会                           | 2月4日～13日  | 溶接協会            | 第6回技術講習会            |
| 自動車関連部会                        | 2月6日      | ホテルモントレエーデルホフ   | セミナー・交流会            |
| 鉄骨部会                           | 2月13日     | ホテルモントレエーデルホフ   | 第7回役員会、全構協同面説明会、懇親会 |
| 第5回正副会長会議                      | 2月27日     | web開催           |                     |
| 検査部会                           | 2月28日     | ホテルモントレエーデルホフ   | 役員会・検査技術研究会・交流会     |
| 北海道中小企業支援センター<br>理事会           | 3月3日      | ネストホテル札幌駅前      |                     |
| 鉄骨部会                           | 3月5日      | 竹原鉄工所           | 三役会                 |
| 自動車関連部会                        | 3月7日      | ホテルモントレエーデルホフ   | 第2回役員会(一部リモート)      |
| 電機電子部会                         | 3月12日～14日 | 道外視察会           | 兵庫・大阪               |
| 表面処理部会視察会                      | 3月12日～14日 | 道外視察会           | 沖縄地区                |
| 鉄骨部会                           | 3月13日     | ホテルモントレエーデルホフ   | 第8回役員会              |
| 第3回総務委員会                       | 3月14日     | ホテルモントレエーデルホフ   |                     |
| 電機電子部会                         | 3月19日     | ANAクラウンプラザホテル札幌 | 役員会・情報交換会           |
| 第6回正副会長会議                      | 3月24日     | ANAクラウンプラザホテル札幌 | 第6回正副会長会議           |
| 理事会                            | 3月24日     | ANAクラウンプラザホテル札幌 | 第3回理事会会議            |
| 交流推進委員会                        | 3月24日     | ANAクラウンプラザホテル札幌 | 第1回委員会              |
| 受注拡大対策委員会                      | 3月24日     | ANAクラウンプラザホテル札幌 | 第1回委員会              |
| 派遣元との懇談会                       | 3月24日     | ANAクラウンプラザホテル札幌 |                     |
| サッシ部会                          | 3月27日     | 一乃喜             | 役員会                 |

(会 議・行催事業等)

| 会 議・行 催 事 業 等    | 開催日       | 場 所      | 主 催 者 | 概 要 |
|------------------|-----------|----------|-------|-----|
| 技術力強化事業成果発表会     | 2月5日      | ジョブキタプラザ |       |     |
| 胆振ものづくり産業取引促進商談会 | 2月11日     | 室蘭市      |       |     |
| WIND EXPO        | 2月19日～21日 | 東京ビッグサイト |       |     |

## 事務局からのお知らせ

### 【 退 任 挨拶 】



2023年6月から2025年3月までの約2年間、北海道庁から工業会へ出向しておりました長田です。

在任期間中は、学生などを対象とした企業見学会や出前授業、道内外での展示会等の様々な場面で会員企業の皆様には大変お世話になりました。

当初、製造業については右も左もわからない私でしたが、工業会での経験を通じて、道内ものづくり産業の重要性及び魅力を実感することができました。

2025年4月からは北海道庁経済部産業振興課で勤務をしております。引き続き、北海道のものづくり産業の発展に寄与して参りますので、今後ともご高配の程よろしくお願い申し上げます。

最後に、短い間ではございましたが、会員企業の皆様に賜りましたご指導、ご厚情につきまして、この場をお借りして感謝申し上げます。

皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念いたしております。

2025. 3. 31

長 田 雄 貴

### 【 新 任 挨拶 】



2025年（令和7年）4月1日付で北海道庁より、北海道機械工業会に出向になりました杉浦と申します。

出向前は、オホーツク総合振興局網走建設管理部において3年間、建設業の許認可や工事の入札に関する業務に従事し、その後2年間は本庁の経済部資源エネルギー課にて、石油類燃料や電気、ガスなどのエネルギーに関連する業務を担当しておりました。これらの分野は、今後関わらせていただくものづくりの分野とも一定の関係があることに気付き、世界は繋がっていることを実感しています。

今後、当会では、国や道の委託事業に関する業務を中心に、当会のホームページやメールマガジンを通じた情報発信業務などを担当させていただきます。北海道庁での業務よりも、より企業の皆様に近い立場でのお仕事ができることに、緊張感を抱きつつも、業務に取り組むことを楽しみにしております。

新しい分野での業務となりますので、これまでの経験を活かしつつ、ものづくりに関する知識などを勉強させていただきながら、しっかりと職務を遂行してまいります。

至らない点多々あるかとは思いますが、少しでも会員企業の皆様のお役に立てるよう日々精進して参りますので、ご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

2025. 4. 1

杉 浦 涼 太



## 北海道機械工業会 会員様へお願い

いつも「明日を拓く」をご愛読いただきありがとうございます。  
当会では、ホームページで会員の皆様の情報を掲載させていただいております。  
住所変更や組織変更等で情報に変更がございましたら、ご連絡いただきます様  
お願い致します。

変更は、FAX もしくは E-mail で随時お受付しております。

### 【連絡先】

(一社) 北海道機械工業会

F A X : 011-251-4387      TEL : 011-221-3375

E-mail : hmma@h-kogyokai.or.jp

\*\*\*\*\*

## 登録事項変更届

会 社 名

☆変更された情報のみご記入ください。

代 表 者

住 所

電話番号

F A X

E-mail

U R L

営業窓口担当

従業員数

そ の 他

## あ と が き

2025年度スタートはアメリカ トランプ大統領の関税引き上げ発言がきっかけで日米の自動車摩擦が生じており、当会でも会員企業の皆様に今後の影響などについてアンケート調査をしました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

トランプ大統領の「日本の道路をアメリカ車が走っていない」との発言はその通りで、日頃なかなか目にしないほか、日本自動車輸入組合が今年4月に発表した「2024年度輸入車新規登録台数(速報)」でも、GMの販売台数はシボレー518台、キャデラック468台などで約1000台程度。フォードの販売台数も220台程度で、これまで世界の自動車産業を圧倒し続けてきたアメリカ車の不振振りが数字にも証明されています。私も以前にフォード車に乗っていたものの、ハンドルは左、故障した時の部品もなかなか入荷しない、買い替えしようとしても近くの販売取扱店が閉鎖してしまった等々なかなか難しさを感じていました。個人的にはアメ車は嫌いではないのですが、かつてアメリカの豊かさの象徴であった自動車産業の行方に注目したいと思います。

記：K.U

### ◎北海道機械工業会 ホームページアドレス

<https://h-kogyokai.or.jp>



### ◎北海道機械工業会 フェイスブックアドレス

<https://www.facebook.com/HokkaidoKogyokai/>



### ◎北海道機械工業会 Eメールアドレス一覧

| アドレス                        | 使用者及び担当業務                                         |
|-----------------------------|---------------------------------------------------|
| n-yasuda@h-kogyokai.or.jp   | 安田専務(統括)                                          |
| t-morinaga@h-kogyokai.or.jp | 森永事務局長(統括、総務委員会)                                  |
| k-ueda@h-kogyokai.or.jp     | 上田(機械製缶部会、電機電子部会、サッシ部会、自動車関連部会、受注拡大対策委員会、各支部、会報誌) |
| h-nakai@h-kogyokai.or.jp    | 中井(自動車関連部会、検査部会、表面処理部会、交流推進委員会)                   |
| r-sugiura@h-kogyokai.or.jp  | 杉浦                                                |
| m-suzuki@h-kogyokai.or.jp   | 鈴木(経理)                                            |
| mail16@h-kogyokai.or.jp     | 寺本(鉄骨部会)                                          |
| hmma@h-kogyokai.or.jp       | 代表アドレス                                            |
| k-magazine@h-kogyokai.or.jp | メールマガジン専用アドレス                                     |

### ◎北海道機械工業会 企業間連携推進室

| アドレス                    | 使用者及び担当業務       |
|-------------------------|-----------------|
| k-iida@h-kogyokai.or.jp | 飯田(企業間連携マネージャー) |

(一社)北海道機械工業会

会 報

2025 VOL.51 No. 2 (270号)

発行日 令和7年5月

発行所

(一社)北海道機械工業会

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目3-2 北一条大和田ビル4階

電 話 011-221-3375

F A X 011-251-4387

編集者

(一社)北海道機械工業会事務局

印刷 (株)千修アイテム

## 令和7年3月分(4月納付分)からの 協会けんぽの保険料率についてお知らせします

① 40歳以上65歳未満の  
被保険者(ご本人)さま

| 令和6年度            |                 |
|------------------|-----------------|
| 11.81%           |                 |
| 健康保険料率<br>10.21% | 介護保険料率<br>1.60% |



| 令和7年度            |                 |
|------------------|-----------------|
| 11.90%           |                 |
| 健康保険料率<br>10.31% | 介護保険料率<br>1.59% |

② 上記①以外の  
被保険者(ご本人)さま

| 令和6年度            |             |
|------------------|-------------|
| 10.21%           |             |
| 健康保険料率<br>10.21% | 介護保険料率<br>— |



| 令和7年度            |             |
|------------------|-------------|
| 10.31%           |             |
| 健康保険料率<br>10.31% | 介護保険料率<br>— |

各都道府県の健康保険料率は、地域の医療費等に基づいて算出されます。  
皆さまの取組で医療費上昇を抑え、北海道全体をより元気にしましょう！

### 皆さまにお願いしたい取組

- 協会けんぽの生活習慣病予防健診・特定保健指導(健康サポート)を受けていただくこと
- 特定保健指導(健康サポート)を受けた方は、プログラムに最後まで取り組むとともに、必要に応じて医療機関を受診していただくこと
- ジェネリック医薬品の使用促進を始めとする上手な医療のかかり方を実践いただくこと
- 企業を挙げて健康づくりに取り組んでいただくこと(健康事業所宣言)

## 協会けんぽの健診から始まる健康づくり



令和7年度も協会けんぽの「生活習慣病予防健診」をご利用ください！

対象者 35歳～74歳の被保険者

| 費用                                                                       | 総額<br>18,865円<br>のところ…                   | 自己負担額最高<br><b>5,282円</b> | 内容              | 労働安全衛生法上の<br>定期(事業者)健診項目                     | + | 胃がん<br>・<br>大腸がん検診 |
|--------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|--------------------------|-----------------|----------------------------------------------|---|--------------------|
| <div>追加健診で安心を！</div> <div>付加健診</div> <div>乳がん検診</div> <div>子宮頸がん検診</div> |                                          |                          |                 |                                              |   |                    |
| <div>  特設ページは<br/>コチラ▼<br/> </div>                                       |                                          |                          |                 |                                              |   |                    |
| 対象者 ▶                                                                    | 40歳、45歳、50歳、<br>55歳、60歳、65歳、<br>70歳の被保険者 |                          | 自己負担額最高<br>費用 ▶ | <b>2,689円</b>                                |   |                    |
| 対象者 ▶                                                                    | 40歳～74歳の偶数<br>年齢の女性の被保険者                 |                          | 自己負担額最高<br>費用 ▶ | 40～48歳 <b>1,574円</b><br>50～74歳 <b>1,013円</b> |   |                    |
| 対象者 ▶                                                                    | 36歳～74歳の偶数<br>年齢の女性の被保険者                 |                          | 自己負担額最高<br>費用 ▶ | <b>970円</b>                                  |   |                    |





# 札幌トヨタのドライブ情報♪

札幌トヨタ  
presents.

アソベ! 北の箱庭

\* Northern  
BOX

ノーザン ボックス



季節のドライブスポットやグルメ・アクティビティをご紹介!

## 最新情報はこちらから! ▶

数々の魅力がつまった北の大地北海道

札幌トヨタがおとどけする北の魅力的な発見・無料情報サイト

「アソベ! 北の箱庭 Northern BOX」

新型試乗車  
多数ご用意!

24時間  
いつでも  
予約受付!

最新の  
トヨタ車に  
気軽に試乗!

最短で翌日に  
即時試乗!

いつでも♪ どこでも♪  
気軽に簡単に  
試乗予約♪



スマホで  
簡単!!

札幌トヨタ オリジナル  
「さっぽろとよワン」  
LINEスタンプ  
できました!



みんなで使って  
ほしいワン!

簡単ステップですぐ使える!! /

スタンプはこちらから!! ▶



札幌トヨタ

お客様相談テレホン/フリーダイヤル  
☎ 0120-030040  
〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目3-8

くわしくはWEBで  
チェック  
札幌トヨタ 検索



友だち募集中心!! /  
LINE公式アカウント  
はこちら



札幌市内近郊店舗

特販部  
札幌支店  
札幌支店サービスセンター  
南5条店  
東苗穂店  
月寒支店  
東札幌店  
大曲店

☎011-231-9711  
☎011-261-3211  
☎011-299-6311  
☎011-533-6311  
☎011-783-2811  
☎011-851-6121  
☎011-823-2311  
☎011-377-5611

恵庭店  
琴似支店  
西野店  
八軒店  
手稲店  
北光支店  
新道店  
新琴似店

☎0123-32-3171  
☎011-621-1111  
☎011-665-3111  
☎011-641-6511  
☎011-683-4111  
☎011-711-7191  
☎011-784-7211  
☎011-763-8811

篠路店  
石狩店  
白石支店  
北郷店  
厚別店  
千歳店  
藻岩店  
江別店

☎011-773-7111  
☎0133-74-3201  
☎011-864-1171  
☎011-875-3111  
☎011-898-1111  
☎0123-26-3345  
☎011-581-3151  
☎011-382-2114

苫小牧・室蘭小樽・苫小牧岩見沢地区

室蘭支店  
伊達店  
小樽支店  
余市店  
岩内店  
倶知安店  
苫小牧支店  
糸井店

☎0143-43-1111  
☎0142-23-4334  
☎0134-23-5211  
☎0135-23-8581  
☎0135-62-2626  
☎0136-23-3111  
☎0144-84-3333  
☎0144-74-7171

岩見沢支店  
滝川店  
☎0126-22-3181  
☎0125-22-2116

中古車センター

宮の沢店  
T-ZONE南郷店  
室蘭支店中古車課  
苫小牧支店中古車課

☎011-669-1111  
☎011-864-4711  
☎0143-43-1111  
☎0144-84-3333